

**ROG
MAXIMUS
XII
FORMULA**

ASUS

Motherboard

J16531

初版

2020年3月

Copyright © 2020 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。購入者によるバックアップ目的の場合を除き、ASUSTeK Computer Inc. (以下、ASUS) の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

以下に該当する場合は、製品保証サービスを受けることができません。

(1) 製品に対しASUSの書面により認定された以外の修理、改造、改変が行われた場合

(2) 製品のシリアル番号の確認ができない場合

本書は情報提供のみを目的としています。本書の情報の完全性および正確性については最善の努力が払われていますが、本書の内容は「現状のまま」で提供されるものであり、ASUSは明示または黙示を問わず、本書においていかなる保証も行いません。ASUS、その提携会社、従業員、取締役、役員、代理店、ベンダーまたはサプライヤーは、本製品の使用または使用不能から生じた付随的な損害（データの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に対して、たとえASUSがその損害の可能性について知らされていた場合も、一切責任を負いません。

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書では説明の便宜のためにその会社名、製品名などを記載する場合がありますが、それらの商標権の侵害を行う意思、目的はありません。

Offer to Provide Source Code of Certain Software

This product contains copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL"), under the Lesser General Public License Version ("LGPL") and/or other Free Open Source Software Licenses. Such software in this product is distributed without any warranty to the extent permitted by the applicable law. Copies of these licenses are included in this product.

Where the applicable license entitles you to the source code of such software and/or other additional data, you may obtain it for a period of three years after our last shipment of the product, either

(1) for free by downloading it from <https://www.asus.com/support/>

or

(2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc.
Legal Compliance Dept.
1F., No. 15, Lide Rd.,
Beitou Dist., Taipei City 112,
Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address gpl@asus.com, stating the product and describing the problem (please DO NOT send large attachments such as source code archives, etc. to this email address).

もくじ

| | |
|-----------------------------------|------|
| 安全上のご注意..... | v |
| このマニュアルについて..... | vi |
| ROG MAXIMUS XII FORMULA 仕様一覧..... | viii |
| 共有帯域幅..... | xiii |
| パッケージの内容..... | xv |
| 取り付け工具とコンポーネント..... | xvi |

Chapter 1 製品の概要

| | |
|-----------------------|-----|
| 1.1 マザーボードの概要..... | 1-1 |
| 1.2 マザーボードのレイアウト..... | 1-2 |

Chapter 2 基本的な取り付け

| | |
|----------------------------------|------|
| 2.1 コンピューターを組み立てる..... | 2-1 |
| 2.1.1 CPUを取り付ける..... | 2-1 |
| 2.1.2 CPUクーラーを取り付ける..... | 2-3 |
| 2.1.3 メモリーを取り付ける..... | 2-5 |
| 2.1.4 M.2 SSDを取り付ける..... | 2-6 |
| 2.1.5 マザーボードを取り付ける..... | 2-8 |
| 2.1.6 電源を取り付ける..... | 2-9 |
| 2.1.7 SATA デバイスを取り付ける..... | 2-10 |
| 2.1.8 フロントI/Oを取り付ける..... | 2-11 |
| 2.1.9 拡張カードを取り付ける..... | 2-12 |
| 2.1.10 ROG DIMM.2 カードを取り付ける..... | 2-15 |
| 2.1.11 付属のアンテナを取り付ける..... | 2-17 |
| 2.2 UEFI BIOSを更新する..... | 2-18 |
| 2.3 バックパネルとオーディオ接続..... | 2-19 |
| 2.3.1 バックパネルインターフェース..... | 2-19 |
| 2.3.2 オーディオ接続..... | 2-21 |
| 2.4 システムを起動する..... | 2-23 |
| 2.5 システムの電源をオフにする..... | 2-23 |

Chapter 3 BIOSとRAID

| | |
|----------------------------------|-----|
| 3.1 UEFIとは..... | 3-1 |
| 3.2 UEFI BIOS Utility..... | 3-2 |
| 3.3 EZ Update..... | 3-2 |
| 3.4 ASUS EZ Flash 3 Utility..... | 3-3 |
| 3.5 ASUS CrashFree BIOS 3..... | 3-4 |
| 3.6 RAID..... | 3-5 |

Chapter 4 付録

| | |
|--------------------------|------|
| Q-Code表 | A-1 |
| 特記事項 | A-5 |
| ASUSコンタクトインフォメーション | A-12 |

安全上のご注意

電気の取り扱い

- ・ 本製品、周辺機器、ケーブルなどの取り付けや取り外しを行う際は、必ずコンピューターと周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。お客様の取り付け方法に問題があった場合の故障や破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- ・ ご使用の電源装置に電圧選択スイッチが付いている場合は、システムの損傷を防ぐために電源装置の電圧選択スイッチがご利用の地域の電圧と合致しているかをご確認ください。ご利用になる地域の電圧が不明な場合は、各地域の電力会社にお問い合わせください。
- ・ 電源装置が故障した場合はご自分で修理・分解をせず、各メーカーや販売店にご相談ください。
- ・ 光デジタルS/PDIFは、光デジタルコンポーネントで、クラス1レーザー製品に分類されています。(本機能の搭載・非搭載は製品仕様によって異なります)



不可視レーザー光です。ビームを直接見たり触れたりしないでください。

操作上の注意

- ・ 作業を行う前に、本パッケージに付属のマニュアル及び取り付けの部品のマニュアルを全て熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源ケーブルに損傷がないことを確認してください。
- ・ 各コネクタ及びスロット、ソケット、回路にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。電源回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- ・ 本製品は安定した場所に設置してください。
- ・ 本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。火災や感電、やけど、故障の原因となります。修理は弊社修理センターまたは販売代理店にご依頼ください。
- ・ 周辺温度0～40℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

ASUSは各国の環境法等を満たし、またリサイクル従事者の作業の安全を図るよう、環境保護に関する厳しい基準を設定しております。ASUSのリサイクルに対する姿勢は、多方面において環境保護に大きく貢献しています。



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の条例等の指示に従ってください。



本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないでください。

このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けやシステム構築の際に必要な情報が記してあります。

マニュアルの概要

本書は以下のChapter から構成されています。

- **Chapter 1: 製品の概要**
マザーボードが搭載する機能及び各部位の説明。
- **Chapter 2: 基本的な取り付け**
コンピューターの組み立て方、バックI/Oインターフェースについての説明。
- **Chapter 3: BIOSとRAID**
UEFI BIOS Utilityの機能とRAIDの詳細。

参考情報

1. ASUSオフィシャルサイト(<http://www.asus.com/>)

多言語に対応した弊社ウェブページで、製品のアップデート情報やサポート情報をご確認いただけます。

2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

ドライバーとユーティリティのダウンロード

ASUSオフィシャルページから、最新のドライバーやユーティリティをダウンロードすることができます。

1. ASUSオフィシャルサイト (<http://www.asus.com/>) にアクセスします。
2. お使いの製品のページに移動します。
3. [サポート] - [ドライバーとツール] の順にクリックします。
4. お使いのOSを選択し、内容をよく読んでご利用になるドライバーやユーティリティをダウンロードします。

このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。



注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



重要: 作業を完了するために必要な指示や設定方法を記載しています。



メモ: 製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。



-
- 本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。
 - 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能および名称が異なる場合があります。また、本書の内容は、製品やサービスの仕様変更などにより将来予告なく変更することがあります。本製品の最新情報については弊社Webサイトをご覧ください。
-

ROG MAXIMUS XII FORMULA 仕様一覧

| | |
|----------|---|
| 対応CPU | <p>Intel® LGA1200 ソケット対応* 第10世代 Intel® Core™ プロセッサ Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサ 14nm CPU サポート</p> <p>Intel® Turbo Boost Max Technology 3.0 / Intel® Turbo Boost Technology 2.0 サポート**</p> <p>* 最新の対応状況については、弊社Webサイトをご確認ください。 ** CPUによって対応する機能は異なります。</p> |
| 搭載チップセット | Intel® Z490 チップセット |
| 対応メモリー | <p>DDR4 スロット×4:最大 128 GB / デュアルチャンネルサポート</p> <p>DDR4 4700+(O.C.) / 4600(O.C.) / 4500(O.C.) / 4400(O.C.) / 4266(O.C.) / 4133(O.C.) / 4000(O.C.) / 3866(O.C.) / 3733(O.C.) / 3600(O.C.) / 3466(O.C.) / 3400(O.C.) / 3333(O.C.) / 3200(O.C.) / 3000(O.C.) / 2933(O.C.) / 2800(O.C.) / 2666 / 2400 / 2133 MHz Non-ECC、Un-buffered DIMM 対応*</p> <p>Intel® Extreme Memory Profile (XMP) サポート OptiMem III 設計</p> <p>* CPUによって対応するメモリーの種類は異なります。 ** 最新の対応状況については、弊社Webサイトをご確認ください。</p> |
| 拡張スロット | <p>プロセッサ: PCI Express 3.0 x16 スロット×2 (@x16、@x8/x8)</p> <p>Intel® Z490 チップセット: PCI Express 3.0 x16 スロット×1 (最大 x4 モード)* PCI Express 3.0 x1 スロット×1**</p> <p>* PCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) と M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) は帯域を共有しています。 ** PCI Express 3.0 x1 スロットと M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) は帯域を共有しています。</p> <p>*** 共有する帯域について、詳しくは、本書の「共有帯域幅」をご覧ください。 **** Intel® Virtual RAID on CPUのためのPCI Express Bifurcationに対応。</p> |
| マルチGPU対応 | <p>NVIDIA® 2-way SLI™ Technology AMD CrossFireX™ Technology (最大 3-way 構成)</p> |
| ストレージ機能 | <p>最大: M.2 Socket 3 スロット×3、SATA 6 Gb/s ポート×6</p> <p>Intel® Z490 チップセット:</p> <ul style="list-style-type: none"> - M.2 Socket 3 スロット×1 (Key M、Type 2242/2260/2280/22110、SATA/PCIe 3.0 x4 接続)* - M.2 Socket 3 スロット×2 (Key M、Type 2242/2260/2280、PCIe 3.0 x4 接続)** <p>SATA 6 Gb/s ポート×6**</p> <p>Intel® Rapid Storage Technology 対応 (RAID 0/1/5/10) Intel® Optane™ Memory 対応</p> <p>* M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に Type 22110 カードを取り付けた場合、第2スロット (M.2_2) には Type 2242 カードのみ取り付けることができます。 * PCI Express 3.0 x1 スロット (PCIEX1) を使用した場合、M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) は PCIe x2 モードで動作します。 * M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に M.2 SATA SSD を取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第2ポート (SATA6G_2) は無効になります。 ** M.2 Socket 3 第2スロット (M.2_2) を x4 モードに設定した場合、SATA 6 Gb/s 第5、第6ポート (SATA6G_56) は無効になります。 ** M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) と PCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) は帯域を共有しています。 *** 共有する帯域について、詳しくは、本書の「共有帯域幅」をご覧ください。</p> |

ROG MAXIMUS XII FORMULA 仕様一覧

| | |
|--------------------|---|
| イーサネット機能 | Intel® Ethernet Controller I225-V×1 Marvell® AQtion AQC107 Ethernet Controller×1 ASUS LANGuard |
| 無線データネットワーク | Intel® Wi-Fi 6 AX201 2x2 Wi-Fi 6 (802.11 a/b/g/n/ac/ax)サポート 1024QAM / OFDMA / MU-MIMO 対応 最大データレート; 2.4Gbps デュアルバンド (2.4GHz/5GHz)対応 チャンネル帯域幅: HT20 / HT40 / HT80 / HT160 サポート CNVi インターフェースサポート |
| Bluetooth® 機能 | Bluetooth® 5.1 * 対応するバージョンやプロファイルはご使用のOSに準じます。 |
| USB機能 | リアUSB: 合計10ポート USB 3.2 Gen 2 ポート×4 (Type-A×3, USB Type-C®×1) USB 3.2 Gen 1 ポート×6 (Type-A×6) フロントUSB: 最大9ポート USB 3.2 Gen 2 コネクタ×1 USB 3.2 Gen 1 ヘッダー×2 USB 2.0 ヘッダー×2 |
| オーディオ機能 | ROG SupremeFX S1220 - 7.1 チャンネル HDオーディオコーデック - ヘッドホン出力インピーダンス検出機能 - ジャック検出、マルチストリーミング、フロントパネル・ジャックリタスキング - SN比: 120dBのステレオライン出力とSN比: 113dBのライン入力をサポート - 最高192kHz/32bitのハイレゾ音源の再生に対応* オーディオ機能 - SupremeFX Shielding Technology - ESS™ ES9023 DAC + RC4580 OP AMP - 金メッキオーディオポート - 光デジタルS/PDIF出力ポート (バックパネル) - 日本メーカー製オーディオ用コンデンサー採用 - オーディオカバー * HD Audio規格の192kHz/32bitまでのデータストリーム、96kHz/32bitでの8チャンネルサラウンドに対応。 |
| バックパネル インターフェース | USB 3.2 Gen 2 ポート×4 (Type-A×3, USB Type-C®×1) USB 3.2 Gen 1 ポート×6 (Type-A×6) 無線通信用アンテナポート×2 Intel® I225-V イーサネットポート×1 Marvell® AQtion AQC107 イーサネットポート×1 オーディオポート×5 光デジタル S/PDIF 出力ポート×1 BIOS FlashBack™ ボタン×1 CMOS クリアボタン×1 PS/2 コンボポート×1 |

ROG MAXIMUS XII FORMULA 仕様一覧

基板上インターフェース

ファン/冷却:

- 4ピン CPUファンヘッダー×1
- 4ピン CPUオプションファンヘッダー×1
- 4ピン AIOポンプヘッダー×1
- 4ピン ケースファンヘッダー×3
- 4ピン 高電流ファンヘッダー×1
- 4ピン ウォーターポンプ+ヘッダー×1
- 2ピン 水流INヘッダー×1
- 2ピン 水流OUTヘッダー×1
- 3ピン 水流量ヘッダー×1

電源:

- 24ピン メイン電源コネクタ×1
- 8ピン +12V 電源コネクタ×1
- 4ピン +12V 電源コネクタ×1

ストレージ:

- M.2 Socket 3 スロット×3
- SATA 6Gb/s ポート×6

USB:

- USB 3.2 Gen 2 コネクタ×1
- USB 3.2 Gen 1 ヘッダー×2
- USB 2.0 ヘッダー×2

その他:

- 第2世代アドレスラブルヘッダー×2
- RGBヘッダー×2
- FlexKeyボタン×1
- フロントパネルオーディオヘッダー×1
- ReTryボタン×1
- スピーカーヘッダー×1
- 電源ボタン×1
- 10-1ピン システムパネルヘッダー×1
- 温度センサーヘッダー×1
- Thunderbolt ヘッダー×1

ROG MAXIMUS XII FORMULA 仕様一覧

| | |
|----------|---|
| 特殊機能 | <p>ROG Extreme OC kit:</p> <ul style="list-style-type: none">- FlexKeyボタン- ReTryボタン- 電源ボタン <p>Extreme Engine Digi+:</p> <ul style="list-style-type: none">- 10K ブラックメタリックコンデンサー- 70A Power Stage- MicroFine Alloy チョークコイル <p>ASUS Q-Design:</p> <ul style="list-style-type: none">- Q-Code- Q-Connector- Q-DIMM- Q-LED- Q-Slot <p>サーマルソリューション:</p> <ul style="list-style-type: none">- アルミニウム製M.2ヒートシンク- CrossChill EK III- スチール製バックプレート <p>EZ DIY:</p> <ul style="list-style-type: none">- BIOS Flashback™ ボタン- CMOS クリアボタン- ProCool II- プレマウントI/Oシールド- SafeSlot <p>AURA Sync:</p> <ul style="list-style-type: none">- ROG Aura sync Armor- RGBヘッダー- 第2世代アドレサブルヘッダー <p>LiveDash OLED 2"</p> |
| ソフトウェア機能 | <p>ROG独自ソフトウェア:</p> <ul style="list-style-type: none">- Mem Tweakt- RAMCache III- ROG CPU-Z- GameFirst VI- Sonic Studio III + Sonic Studio Virtual Mixer- Sonic Radar III- DTS® Sound Unbound- Overwolf- BullGuard® Internet Security (1年/海外言語版) |

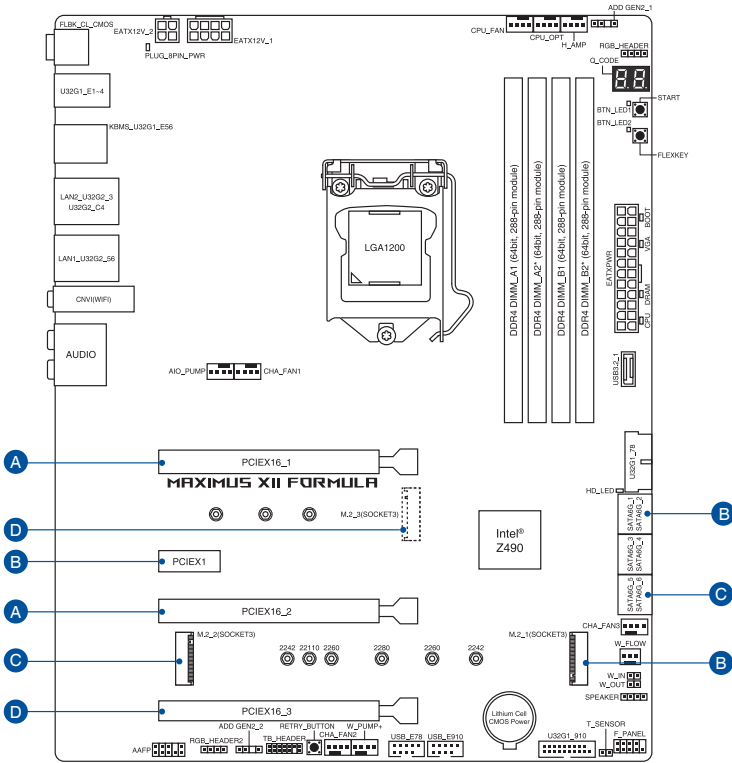
ROG MAXIMUS XII FORMULA 仕様一覧

| | |
|--------------------------|---|
| ソフトウェア機能 | ASUS独自ソフトウェア: |
| | Armoury Crate |
| | - Aura Creator |
| | - Aura Sync |
| | - OLED Display |
| | AI Suite 3 |
| | - 5-Way Optimization with AI Overclocking |
| | TPU |
| | EPU |
| | DIGI+Power Control |
| Fan Xpert 4 | |
| Turbo APP | |
| - EZ update | |
| Ai Charger | |
| WinRAR (体験版) | |
| UEFI BIOS | |
| AI Overclocking Guide | |
| EZ DIY: | |
| - ASUS CrashFree BIOS 3 | |
| - ASUS EZ Flash 3 | |
| - ASUS UEFI BIOS EZ Mode | |
| FlexKey | |
| BIOS機能 | 256 Mb Flash ROM, UEFI AMI BIOS |
| 管理機能 | WOL by PME, PXE |
| サポートOS | Windows® 10 (64-bit) |
| フォームファクター | ATX フォームファクター 30.5 cm×24.4 cm (12インチ×9.6インチ) |



製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

共有帶域幅



| | | 1 | | 2 | | | |
|---|-----------|-------------|--|-------------|--|----------|--|
| A | PCIEX16_1 | x16 | | x8 | | | |
| | PCIEX16_2 | - | | x8 | | | |
| | | 1 | | 2 | | 3 | |
| B | M.2_1 | PCIe x4 ㄇーﾄ | | PCIe x2 ㄇーﾄ | | SATA ㄇーﾄ | |
| | PCIEX1 | - | | ○ | | ○ | |
| | SATA6G_2 | ○ | | ○ | | - | |
| | | 1 | | 2 | | | |
| C | M.2_2 | x2 | | x4 | | | |
| | SATA6G_56 | ○ | | - | | | |
| | | 1 | | 2 | | 3 | |
| D | M.2_3 | x4 | | x2 | | - | |
| | PCIEX16_3 | - | | x1 | | x4 | |



-
- M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に M.2 SATA SSD を取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第2ポート (SATA6G_2) は無効になります。
 - PCI Express 3.0 x1 スロット (PCIEX1) を使用した場合、M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) は PCIe x2 モードで動作します。
 - M.2 Socket 3 第2スロット (M.2_2) を x4 モードに設定した場合、SATA 6 Gb/s 第5、第6ポート (SATA6G_56) は無効になります。
 - M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) と PCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) の両方のスロットへ同時にカードを取り付けた場合、M.2 Socket 3 第3スロットは x2 モード、PCI Express 3.0 x16 第3スロットは x1 モードで動作します。
 - M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) と PCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) のいずれか一方を x4 モードに設定した場合、もう一方のスロットは無効になります。
-

パッケージの内容

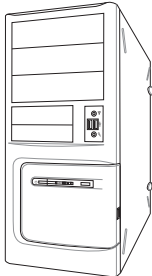

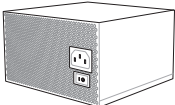
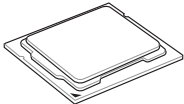
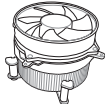
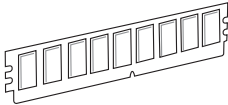
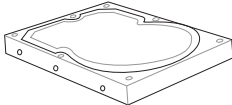
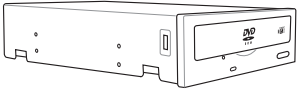
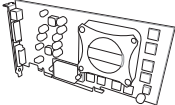

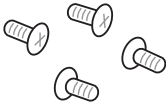
製品パッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

| | |
|--------|--|
| マザーボード | ROG MAXIMUS XII FORMULA |
| ケーブル | アドレサブルストリップ延長ケーブル×1 RGB ストリップ 延長ケーブル ×1 ROG Weave SATA 6Gb/s ケーブル×2 SATA 6Gb/s ケーブル×4 |
| その他 | M.2 ゴムパッド×2 M.2 固定用ネジ・スペーサー (長) ×2 M.2 固定用ネジ・スペーサー (短) ×1 Q-Connector×1 ROG ロゴプレートステッカー×1 ROG ステッカー×1 ROG thanks you カード×1 2T2R デュアルバンド対応Wi-Fi /Bluetoothアンテナ×1 |
| メディア | サポートDVD |
| ドキュメント | ユーザーマニュアル |



万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

取り付け工具とコンポーネント

| | |
|---|---|
|  |  |
| | プラスドライバー |
| PC ケース |  |
| | 電源供給ユニット |
|  |  |
| Intel® LGA1200 CPU | Intel® LGA1200 対応CPUクーラー |
|  |  |
| DDR4 DIMM メモリー | ストレージドライブ |
|  |  |
| 光学ドライブ (必要に応じて) | グラフィックスカード |
|  |  |
| M.2 SSD モジュール (必要に応じて) | 各種取付用ネジ |



組み立てに必要な工具およびコンポーネントは、別途お客様ご自身でご用意ください。

製品の概要

1

1.1 マザーボードの概要

1.1.1 始める前に

パーツの取り付けや設定変更の際は、次の事項に注意してください。

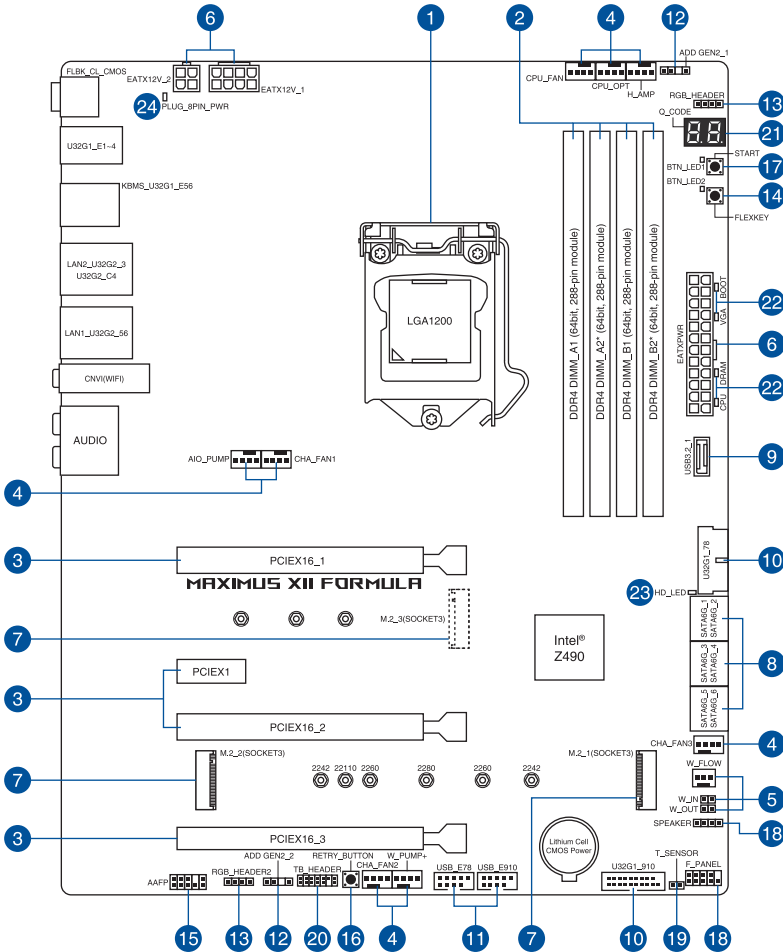


本書に記載されている機能を使用するためには、別途パーツのご購入が必要な場合があります。



- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- IC部分には絶対に手を触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置か、コンポーネントに付属する袋に入れてください。
- パーツの取り付け、取り外しを行う前に、電源ユニットのスイッチをオフにし、電源ケーブルが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電、故障の原因となります。

1.2 マザーボードのレイアウト

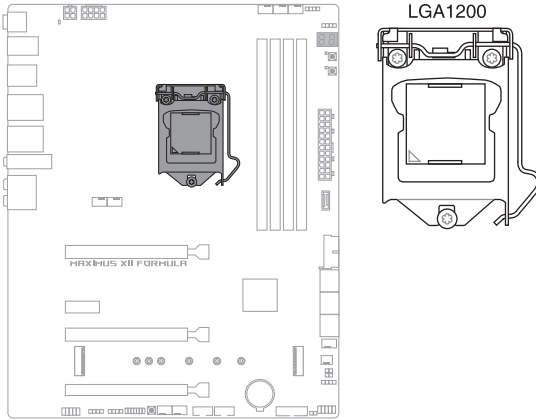


レイアウトの内容

| 名称 | ページ |
|-------------------------|------|
| 1. CPUソケット | 1-4 |
| 2. メモリースロット | 1-5 |
| 3. 拡張スロット | 1-7 |
| 4. ファン/ポンプヘッダー | 1-9 |
| 5. 水冷システムヘッダー | 1-10 |
| 6. 電源コネクタ | 1-11 |
| 7. M.2 Socket 3 スロット | 1-12 |
| 8. SATA 6 Gb/s ポート | 1-13 |
| 9. USB 3.2 Gen 2 コネクタ | 1-14 |
| 10. USB 3.2 Gen 1 ヘッダー | 1-14 |
| 11. USB 2.0 ヘッダー | 1-15 |
| 12. 第2世代アドレスラブルヘッダー | 1-16 |
| 13. RGB ヘッダー | 1-17 |
| 14. FlexKeyボタン | 1-18 |
| 15. フロントパネルオーディオヘッダー | 1-19 |
| 16. ReTry ボタン | 1-19 |
| 17. 電源ボタン | 1-20 |
| 18. システムパネルヘッダー | 1-21 |
| 19. 温度センサーヘッダー | 1-22 |
| 20. Thunderbolt ヘッダー | 1-23 |
| 21. Q-Code | 1-24 |
| 22. Q-LED | 1-25 |
| 23. ストレージデバイスアクティビティLED | 1-25 |
| 24. 8ピン 電源プラグLED | 1-26 |

1. CPUソケット

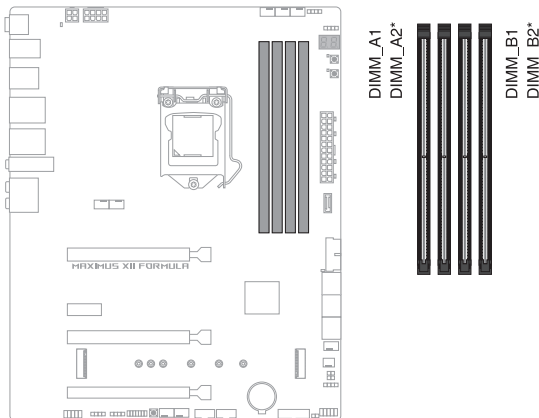
本製品は第10世代Intel® Core™プロセッサ、Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサに対応する、LGA1200 パッケージ用CPUソケットが搭載されています。



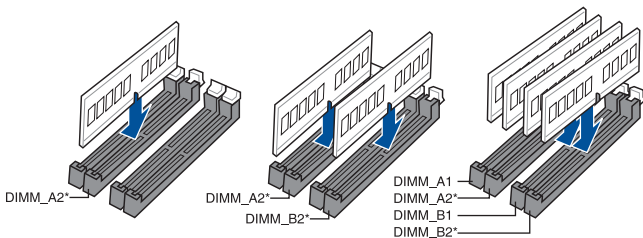
- 本製品はLGA1200タイプの第10世代Intel® Core™プロセッサ、Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサのみをサポートしています。
- CPUを取り付ける際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。
- CPUを取り付けた後もCPUソケットキャップは大切に保管してください。CPUソケットキャップは、輸送時にソケット内のピンの保護として必要になります。CPUソケットキャップが無い状態で修理を依頼されますと、いかなる場合も保証の対象外となりますので注意下さい。
- 製品保証は、CPUの間違った取り付け・取り外しに起因する故障及び不具合には適用されません。

2. メモリスロット

本製品には、DDR4 メモリーに対応したメモリスロット (DIMMスロット) が4基搭載されています。



推奨メモリー構成



メモリー構成

本製品のメモリースロットには、4GB、8GB、16GB、32GBのDDR4 Non-ECC Unbuffered DIMMを取り付けることができます。



異なる容量のメモリーをマルチチャンネル構成で取り付けられた場合、アクセス領域はメモリー容量の合計値が小さい方のチャンネルに合わせて割り当てられ、容量の大きなメモリーの超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。

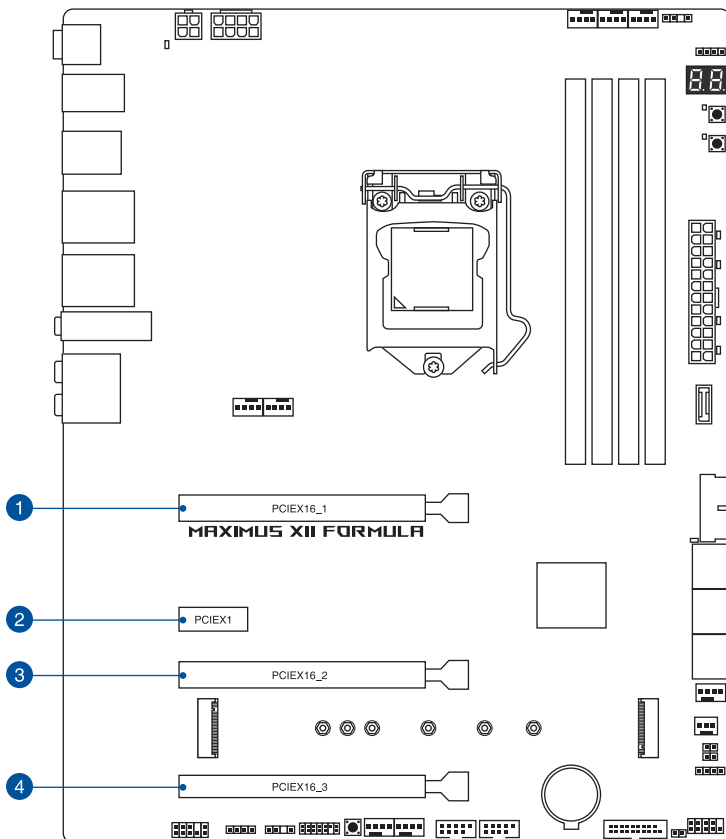


- メモリーの動作周波数はSerial Presence Detect (SPD) に依存しており、デフォルト設定では標準のSPD設定が優先されます。
- すべてのスロットにメモリーモジュールを取り付ける場合やオーバークロックを行う場合は、安定した動作のために適切な冷却システムをご使用ください。
- CPUの仕様電圧範囲以上の高い電圧を必要とするメモリーを取り付けるとCPUが損傷することがあります。CPUの仕様上の制限を超過しないメモリーをご使用ください。
- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーの同じ製造週の製品を取り付けることをお勧めします。
- CPUによって対応するメモリーの種類は異なります。
- 最新の対応状況については、弊社Webサイトをご確認ください。

3. 拡張スロット



拡張カードの追加や取り外しを行う際は、必ず電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてから行なってください。電源ケーブルを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。



| スロット No. | スロット説明 |
|----------|---|
| 1 | PCIEX16_1 (PCI Express 3.0 x16 スロット) |
| 2 | PCIEX1 (PCI Express 3.0 x1 スロット) |
| 2 | PCIEX16_2 (PCI Express 3.0 x 16 スロット) |
| 3 | PCIEX16_3 (PCI Express 3.0 x 16 スロット) 最大 x4 モード |

グラフィックスカード推奨構成

| | スロット | シングル | 2-way |
|----|-----------|------|-------|
| 2. | PCIEX16_1 | x16 | x8 |
| 3. | PCIEX16_2 | - | x8 |



- SLI™ やCrossFireX™環境を構築する場合は、システム構成に見合った大容量の電源ユニットをご用意ください。
- SLI® やCrossFireX™環境を構築する場合は、CPUへ安定した電流を確保するためにすべての電源コネクタに電源ケーブルを接続することをおすすめします。
- 複数のグラフィックスカードを使用する場合は、安全性及び信頼性を確保するためケースファンを設置することを推奨します。



- M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) とPCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) の両方のスロットへ同時にカードを取り付けた場合、M.2 Socket 3 第3スロットは x2モード、PCI Express 3.0 x16 第3スロットは x1モードで動作します。
- M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) とPCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) のいずれか一方を x4 モードに設定した場合、もう一方のスロットは無効になります。

HYPER M.2 X16 CARD の使用

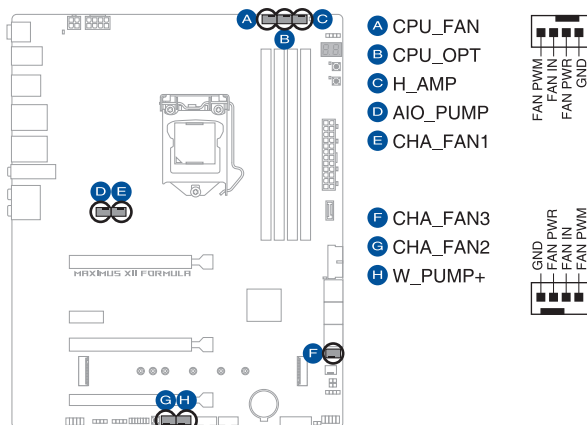
| | スロット | M.2 PCIe SSD×2枚 | M.2 PCIe SSD×3枚 |
|----|-----------|-----------------|-----------------|
| 1. | PCIEX16_1 | - | x8+x4+x4 |
| 3. | PCIEX16_2 | x4+x4 | - |



- PCI Express 3.0 x16 第1スロット (PCIEX16_1) は、HYPER M.2 X16 CARDで最大3枚までのM.2 PCIe SSDを使用することができます。
- HYPER M.2 X16 CARDで2枚のM.2 PCIe SSDを使用する場合、PCI Express 3.0 x16 第2 スロット (PCIEX16_2) に取り付けることで、PCI Express 3.0 x16 第1 スロット (PCIEX16_1) を x8モードで動作させることができます。
- HYPER M.2 X16 CARDで3枚のM.2 PCIe SSDを使用する場合、PCI Express 3.0 x16 第2 スロット (PCIEX16_2) は無効になります。そのため、ディスプレイはPCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) にグラフィックスカードを接続してご利用ください。
- HYPER M.2 X16 CARDを使用するには、UEFI BIOS Utilityの設定が必要です。
- 実際の転送速度はHYPER M.2 X16 CARDに取り付けたM.2 SSDの仕様に基づきます。

4. ファン/ポンプヘッダー

CPUファン、ケースファンなどの各種冷却ファンや水冷キットのポンプ、ラジエーターファンを接続します。



- PCケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードやコンポーネントが損傷する恐れがあります。組み立ての際には冷却ファン(吸/排気ファン)を必ず搭載してください。
- ケーブルは正しい向きでしっかりと奥まで挿入してください。

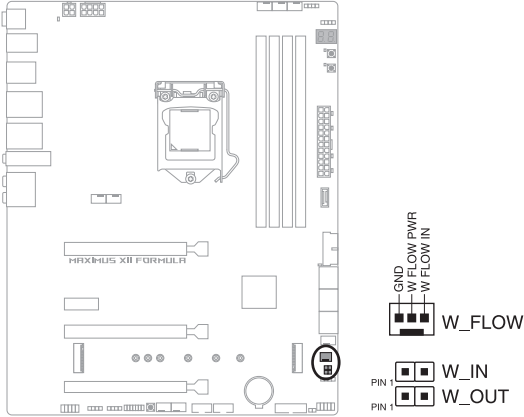


- 水冷キットを使用する場合は、W_PUMP+ヘッダーにポンプを、CPU_FAN/CPU_OPTヘッダーに冷却ファンを接続します。
- 1Aを超える高電流のファンをH_AMPヘッダーへ取り付ける場合は、4ピンPWM制御の冷却ファンを取り付けることをおすすめします。

| ヘッダー | 最大電流 | 最大出力 | デフォルト設定 | 連動制御 |
|----------|------|------|--------------|------|
| CPU_FAN | 1A | 12W | Q-Fan コントロール | A |
| CPU_OPT | 1A | 12W | Q-Fan コントロール | A |
| CHA_FAN1 | 1A | 12W | Q-Fan コントロール | - |
| CHA_FAN2 | 1A | 12W | Q-Fan コントロール | - |
| CHA_FAN3 | 1A | 12W | Q-Fan コントロール | - |
| W_PUMP+ | 3A | 36W | フルスピード | - |
| AIO_PUMP | 1A | 12W | フルスピード | - |
| H_AMP | 3A | 36W | Q-Fan コントロール | - |

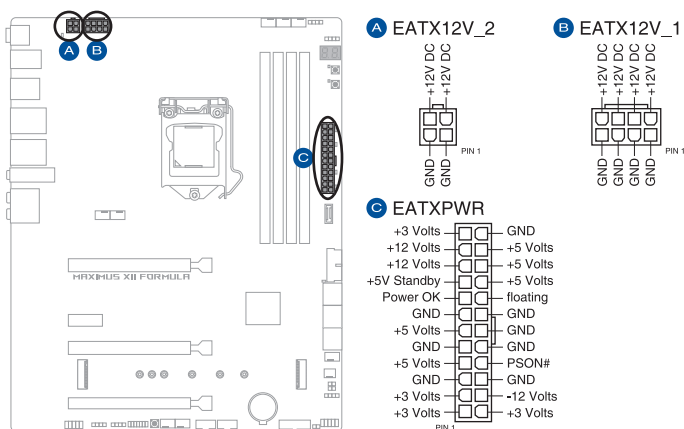
5. 水冷システムヘッダー

水流IN/水流OUT ヘッダーに温度センサーを、水流量ヘッダーに流量センサーを接続することで、水冷システムの水温や流量をモニタリングすることができます。



6. 電源コネクタ

電源ユニット用コネクタです。電源ユニットのメインコネクタやCPU補助電源を接続します。電源ケーブルとコネクタにはツメがあるので、お互いがかみ合う方向に正しく接続してください。



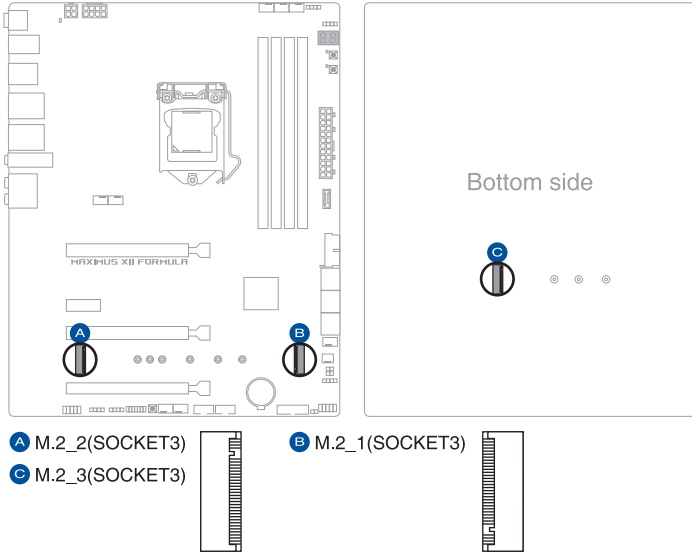
8ピン+12V電源コネクタには、必ず8ピン電源コネクタを接続してください。



- ATX12V version 2.4 またはそれ以降の規格に準拠した電源ユニットをご使用ください。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。

7. M.2 Socket 3 スロット

M.2 socket 3 (Key M) 規格のSSDを取り付けることができます。



A M.2_2(SOCKET3)

C M.2_3(SOCKET3)

B M.2_1(SOCKET3)



• M.2_1 スロット:

Key M, Type 2242/2260/2280/22110, SATA/PCIe 3.0 x4 接続

* M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に M.2 SATA SSDを取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第2ポート (SATA6G_2) は無効になります。

* PCI Express 3.0 x1 スロット (PCIEX1) を使用した場合、M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) は PCIe x2 モードで動作します。

* M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に Type 22110 カードを取り付けた場合、第2スロット (M.2_2) には Type 2242 カードのみ取り付けることができます。

• M.2_2 スロット:

Key M, Type 2242/2260/2280, PCIe 3.0 x4 接続

* M.2 Socket 3 第2スロット (M.2_2) を x4 モードに設定した場合、SATA 6 Gb/s 第5、第6ポート (SATA6G_56) は無効になります。

• M.2_3 スロット:

Key M, Type 2242/2260/2280, PCIe 3.0 x4 接続

* M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) と PCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) の両方のスロットへ同時にカードを取り付けた場合、M.2 Socket 3 第3スロットは x2モード、PCI Express 3.0 x16 第3スロットは x1モードで動作します。

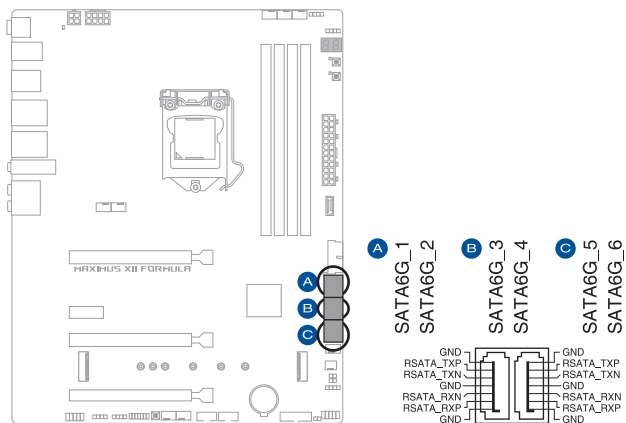
* M.2 Socket 3 第3スロット (M.2_3) と PCI Express 3.0 x16 第3スロット (PCIEX16_3) のいずれか一方を x4 モードに設定した場合、もう一方のスロットは無効になります。

• Intel® Rapid Storage Technology (Intel® RST) サポート。

- 表面のM.2 Socket 3 スロット (M.2_1/2) にM.2 SSDを取り付ける場合は、付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー (長) を、底面のM.2 Socket 3 スロット (M.2_3) にM.2 SSDを取り付ける場合は、付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー (短) をご使用ください。

8. SATA 6Gb/s ポート

SATAストレージデバイスや光学ドライブを接続することができます。



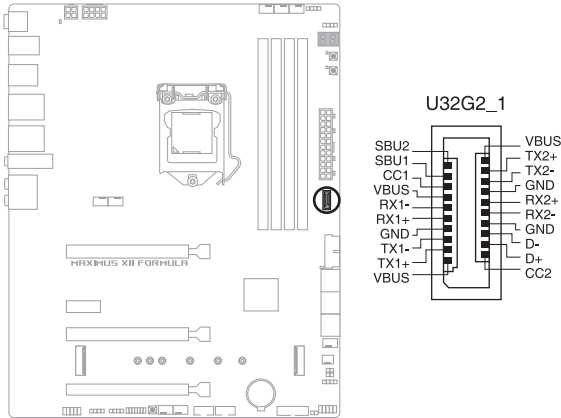
SATAストレージドライブを取り付けることで、Intel® Rapid Storage Technology (Intel® RST) をサポートするチップセットによるRAID (0/1/5/10) を構築することができます。



- SATA動作モードは工場出荷時 [AHCI] に設定されています。RAIDを構築する場合は、UEFI BIOS Utilityで「**SATA Mode Selection**」を [Intel RST Premium With Intel Optane System Acceleration (RAID)] に設定してください。
- M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に M.2 SATA SSDを取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第2ポート (SATA6G_2) は無効になります。
- M.2 Socket 3 第2スロット (M.2_2) を x4 モードに設定した場合、SATA 6Gb/s 第5、第6ポート (SATA6G_5/6) は無効になります。
- RAIDの設定については、RAID設定マニュアルをご覧ください。RAID設定マニュアルは弊社Webサイトからダウンロードしてご覧いただけます。

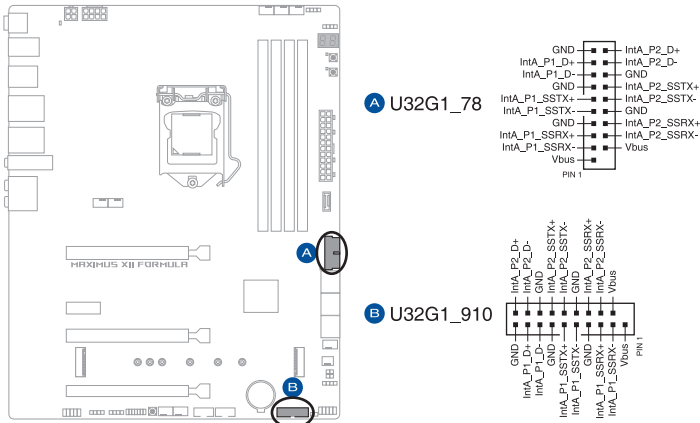
9. USB 3.2 Gen 2 コネクター

Key-A タイプの USB 3.2 Gen 2 ポート増設用ブラケットやフロントパネルの USB 3.2 Gen 2 端子を接続することで、1つの USB Type-C® ポート または Type-A ポートを使用することができます。



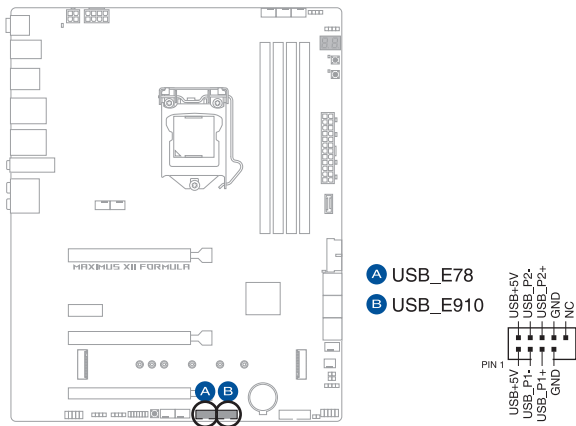
10. USB 3.2 Gen 1 ヘッダー

USB 3.2 Gen 1 増設用ブラケットやフロントパネルの USB 3.2 Gen 1 端子を接続することができます。



13. USB 2.0 ヘッダー

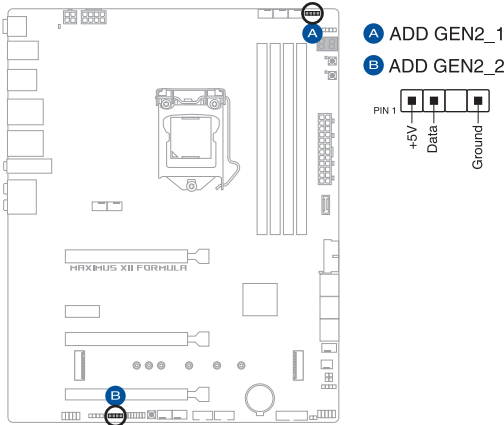
USB 2.0 増設用ブラケットやフロントパネルのUSB 2.0 端子を接続することができます。



IEEE 1394用ケーブルをUSB 2.0 ヘッダーに接続しないでください。マザーボードが損傷する原因となります。

12. 第2世代アドレスابلヘッダー

マイクロコントローラーを内蔵するアドレス可能なWS2811 LEDドライバーIC搭載のRGB LED WS2812B ベースのLEDストリップを接続することができます。



アドレスابلヘッダーは、定格最大5V/3A (LED 最大 500 個まで) の RGB LED WS2812B ベースの LED ストリップに対応しています。



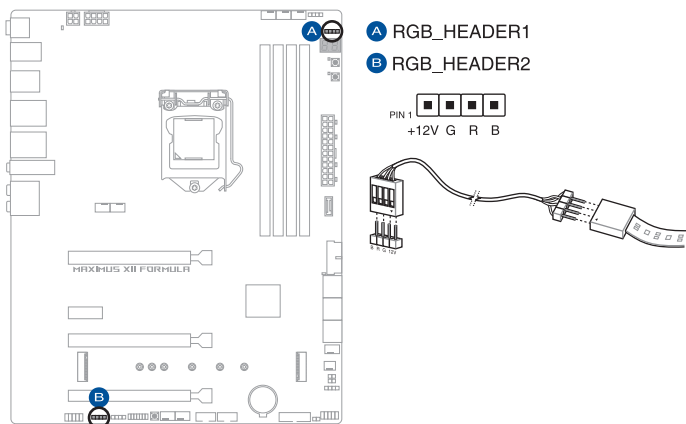
コンポーネントの取り付け・取り外しを行う際は、事前にATX電源がオフになっていること、電源ケーブルが電源から取り外されていることを確認してください。マザーボード及び周辺機器、コンポーネントの故障や不具合の原因となる恐れがあります。



- 実際の点灯色や点灯方法は取り付けられたLED ストリップの種類により異なります。
- 点灯しない場合は、LEDストリップが本製品がサポートする仕様の範囲内であること、コネクタが正しい向きで接続されていることをご確認ください。
- このヘッダーに接続されたLED ストリップは電源オン時のみ点灯します。

13. RGB ヘッダー

システムを色鮮やかに彩ることができるRGB LEDストリップ (LEDテープ) を接続することができます。



RGB ヘッダーは、電源電圧12VのSMD5050 RGB LED ストリップに対応しています。(定格最大 12V/3A)



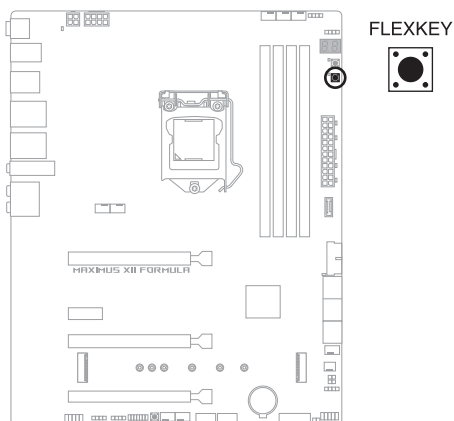
コンポーネントの取り付け・取り外しを行う際は、事前にATX電源がオフになっていること、電源ケーブルが電源から取り外されていることを確認してください。マザーボード及び周辺機器、コンポーネントの故障や不具合の原因となる恐れがあります。



- 実際の点灯色や点灯方法は取り付けられたLED ストリップの種類により異なります。
- 点灯しない場合は、LEDストリップが本製品がサポートする仕様の範囲内であること、コネクタが正しい向きで接続されていることをご確認ください。
- このヘッダーに接続されたLED ストリップは電源オン時のみ点灯します。

14. FlexKeyボタン

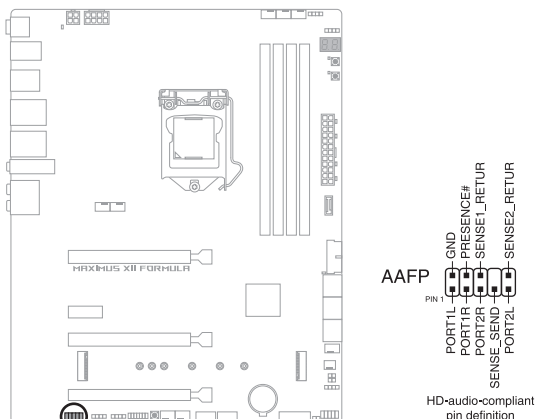
FlexKey ボタンは、任意の機能を割り当てることができるユーザーライクな機能です。ボタンには、リセット、AURA オン/オフ、DirectKey、Safebootのいずれかの機能を割り当てることができます。



FlexKeyボタンは工場出荷時 [リセット] ボタンに設定されています。機能の割り当てはUEFI BIOS Utilityで設定することができます。

15. フロントパネルオーディオヘッダー

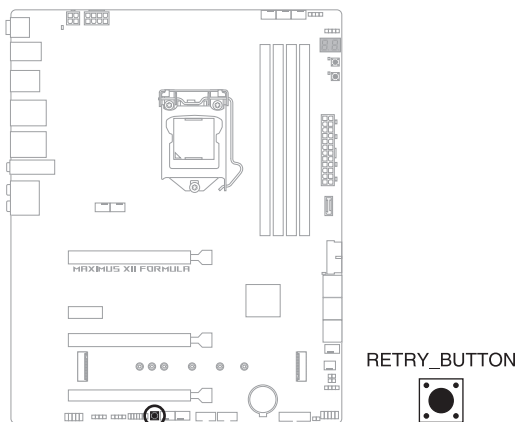
PCケースなどに付属するフロントパネルオーディオモジュールを接続することができます。



本製品を最高のオーディオパフォーマンスでご使用いただくために、HDオーディオモジュールを使用することをおすすめします。

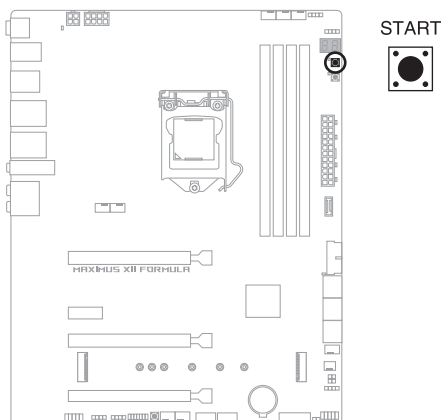
16. ReTry ボタン

極度のオーバークロックや液体窒素などを用いた極冷環境ではリセットボタンでのシステム再起動や強制終了ができない場合に遭遇することがあります。通常このような問題が発生した場合は電源ユニットの電源ケーブルを抜くなどして電力供給を遮断してシステムを停止させなければなりません。ReTry ボタンはこの煩わしい作業からあなたを開放します。ReTry ボタンを押すことによりUEFI BIOSの設定を保持したままシステムを強制的に再起動することができます。



17. 電源ボタン

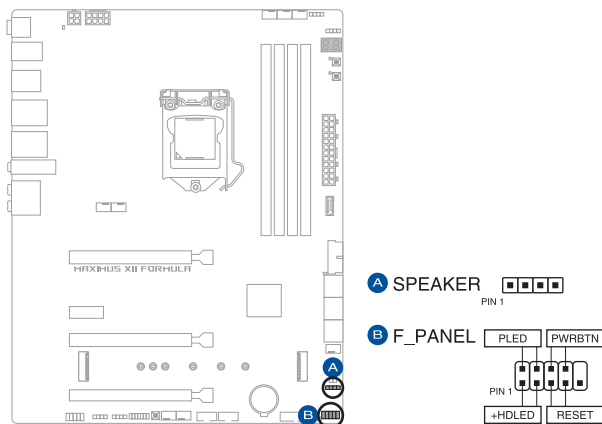
本製品には電源ボタンが搭載されており、別途電源ボタンを接続することなくシステムの電源をオンにすることができます。



システムに電力が供給されると、電源ボタンの付近に設置されたLEDが点灯します。拡張カードなどの取り付けや取り外しを行なう際は、電源ケーブルを抜くなどしてLEDが消灯した事を確認してから行ってください。

18. システムパネルヘッダー

PCケースのボタンやLEDケーブル、ビープスピーカーなどを取り付けることができます。



システム電源LEDヘッダー (PLED)

システム電源LED用2ピンヘッダーです。PCケースなどの電源LEDケーブルを接続します。このLEDはシステムの電源をオンにすると点灯し、システムがスリープ状態に入ると点滅します。

ストレージデバイスアクティビティLEDヘッダー (HLED)

ストレージデバイスアクティビティLED用2ピンヘッダーです。マザーボードに接続しているストレージデバイスがデータの読み書きを行なっている状態の時に点灯または点滅します。

スピーカーヘッダー (SPEAKER)

システム警告スピーカー用4ピンヘッダーです。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具合を報告し、警告を発します。

電源ボタン/ソフトオフボタンヘッダー (PWRBTN)

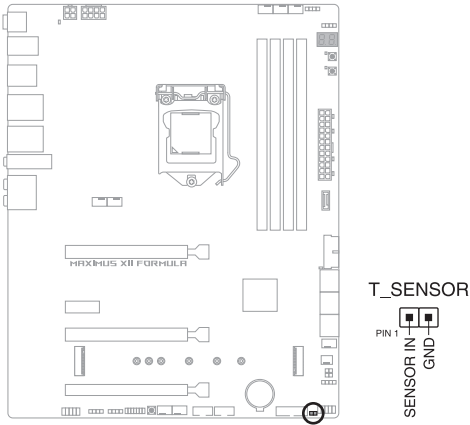
システムの電源ボタン用2ピンヘッダーです。電源ボタンを押すとシステムの電源がオンになります。OSが起動している状態で、電源ボタンを押してから4秒以内に離すと、システムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源ボタンを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にオフになります。

リセットボタンヘッダー (RESET)

リセットボタン用2ピンヘッダーです。リセットボタンを押すとシステムは強制的に再起動が実行されます。保存されていない作業中のデータは削除されてしまいます。

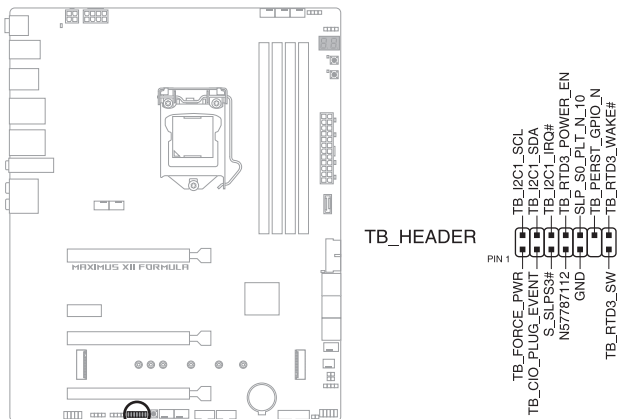
19. 温度センサーヘッダー

サーミスタケーブルを接続することで、任意の場所やデバイスの温度をモニターすることができます。



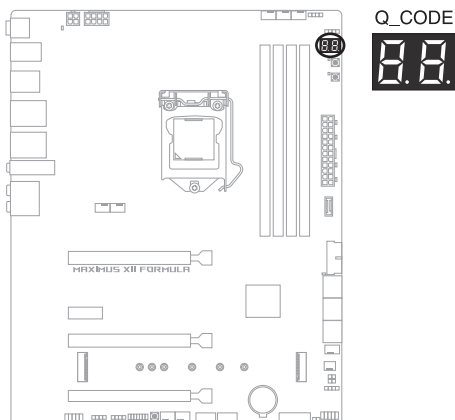
20. Thunderbolt ヘッダー

ASUS ThunderboltEX 拡張カードを接続する際に使用します。ASUS ThunderboltEX 拡張カードでは、デジチェーン接続により1つのポートで最大6台のThunderbolt™デバイスと3台のネイティブDisplayPort対応ディスプレイを接続することができます。



21. Q-Code

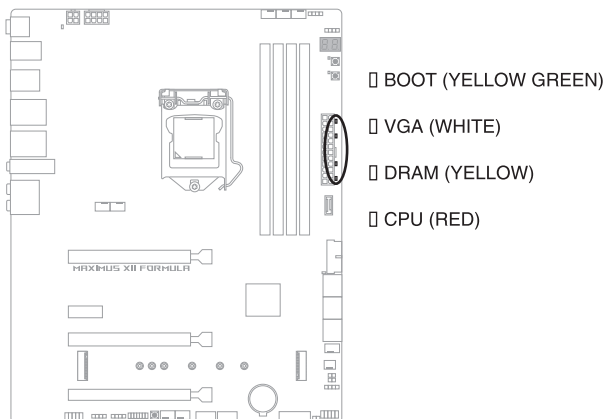
Q-Codeは7セグメントLEDディスプレイによってPOSTコードを表示しシステムの起動状態を通知します。コードの詳細については、本書に記載のQ-Code表をご参照ください。



システム起動エラー発生時、Q-Codeにはトラブルシューティングのために、可能性が高いPOSTエラーコードが表示されます。なお、POSTエラーコードは代表的な原因をもとに表示されており、実際のエラー原因とは異なる場合があります。

22. Q-LED

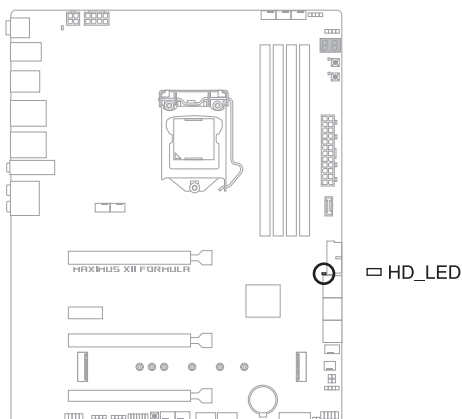
システムは起動時にPOST (Power-on Self Test) と呼ばれる動作チェックを実行します。Q-LEDは重要なコンポーネント (CPU、メモリー、グラフィックスカード、起動デバイス) をPOST時にチェックし、エラーが検出されると該当箇所のLEDを点灯させ問題箇所を通知します。LEDが点灯している場合、システムは正常に動作することができません。Q-LEDは、素早く問題箇所を発見することができる非常に便利な機能です。



Q-LEDはシステムの起動問題が発生している箇所の特定を補助するためのものであり、あらゆる状況での問題を正確に特定するものではありません。あくまでも目安としてご利用ください。

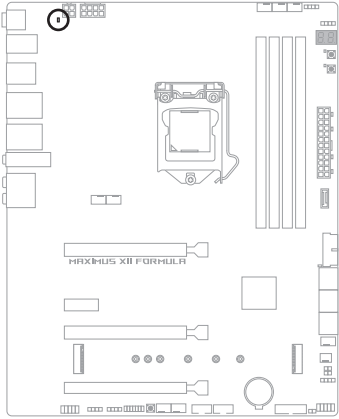
23. ストレージデバイスアクティビティLED

ストレージデバイスアクティビティLEDはハードディスクやSSDなどのストレージデバイスの動作状態を示し、データの書き込み/読み込み中に点滅します。マザーボードにストレージデバイスが接続されていない、またはストレージデバイスが正常に動作していない場合、LEDは点灯しません。



24. 8ピン電源プラグLED

CPU用補助電源のための8ピン +12V 電源コネクタの接続状態を検出し通知します。コネクタに電源プラグが正しく取り付けられていない場合、このLEDが点灯し警告を發します。



□ PLUG_8PIN_PWR

基本的な取り付け

2

2.1 コンピューターを組み立てる

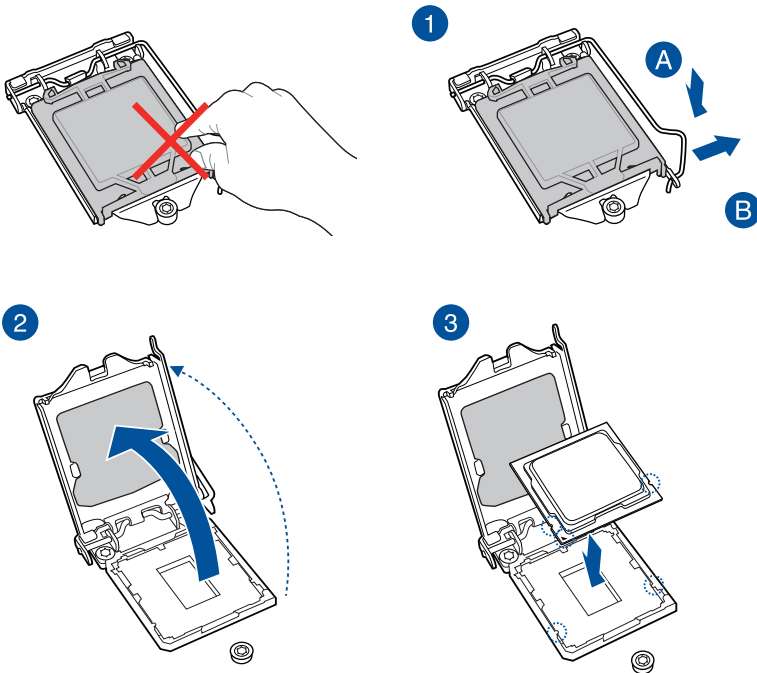


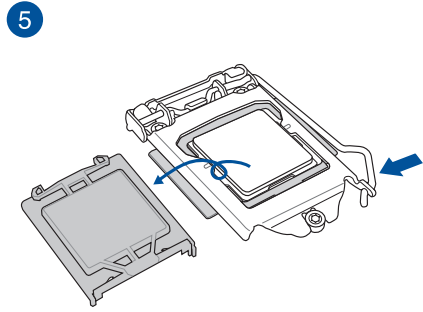
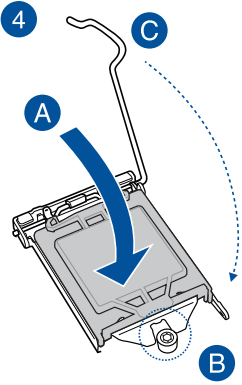
本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。マザーボードのレイアウトはモデルにより異なりますが、取り付け方法は同じです。

2.1.1 CPUを取り付ける

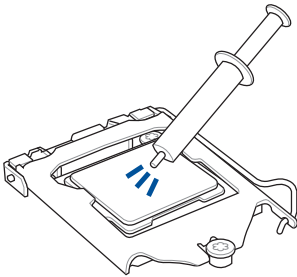


- 本製品はLGA1200タイプの第10世代Intel® Core™プロセッサ、Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサのみをサポートしています。
- CPUの取り付けを行なう際は、正しい手順で行なってください。製品保証は、CPUの間違った取り付け・取り外しに起因する故障及び不具合には適用されません。





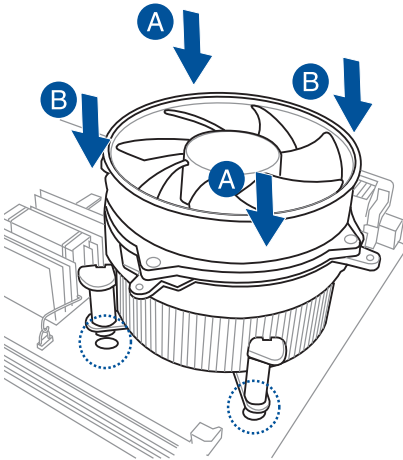
2.1.2 CPUクーラーを取り付ける



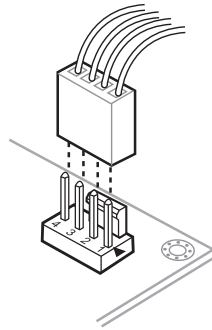
CPUクーラーを取り付ける前に、必ずCPUにサーマルグリスを塗布してください。CPUクーラーには、サーマルグリスや熱伝導シートなどが購入時から塗付されているモデルもあります。

手順

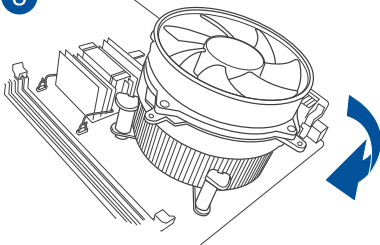
1



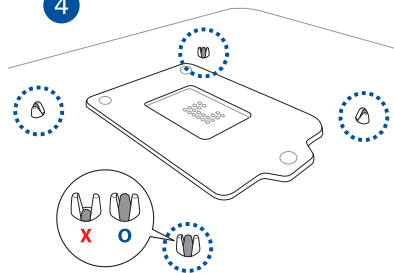
2



3



4

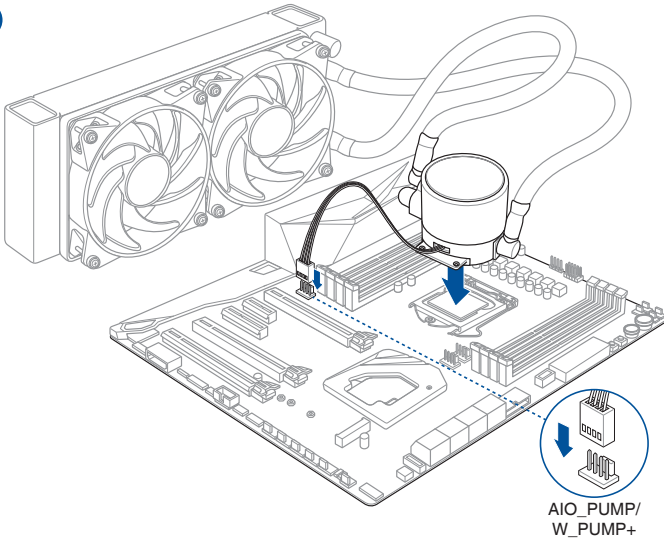


AIOクーラーを取り付ける

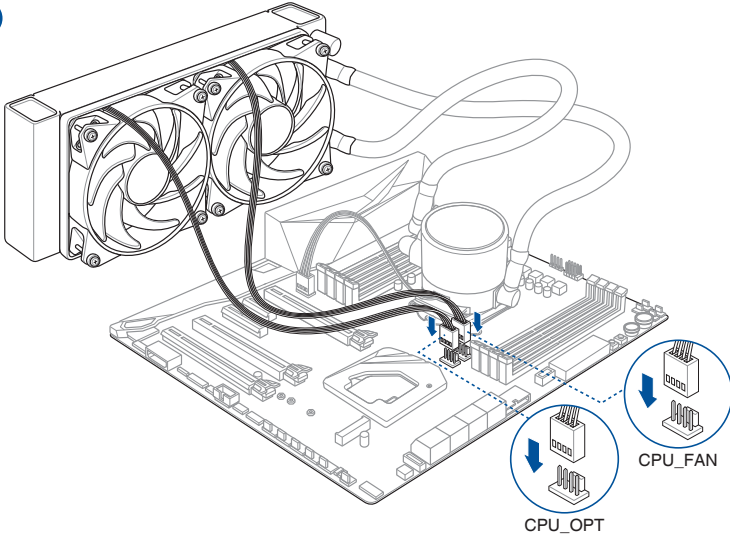


取付け方や使用方法は各製品に付属の取扱説明書に従ってください。

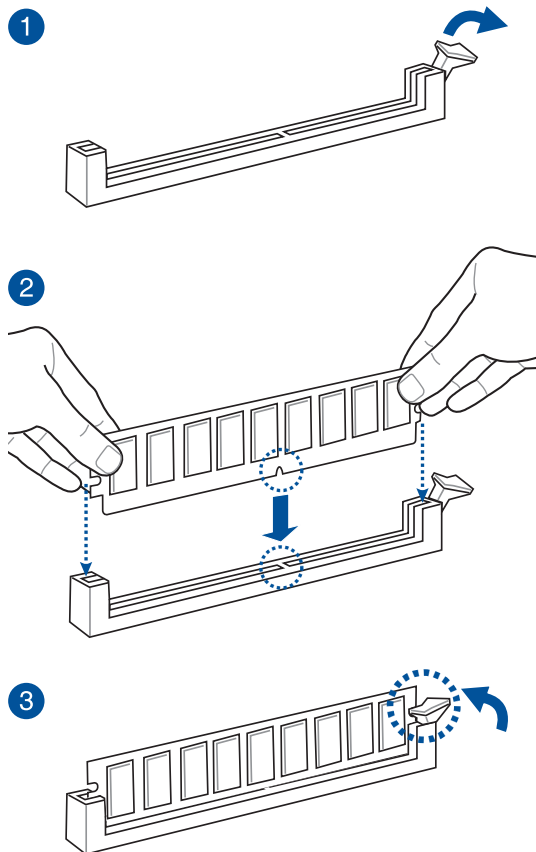
1



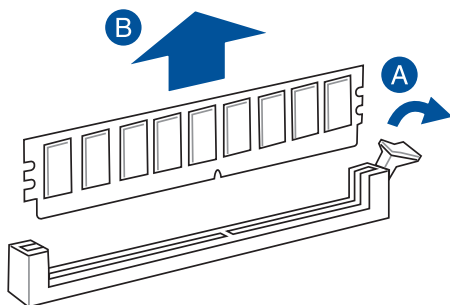
2



2.1.3 メモリーを取り付ける

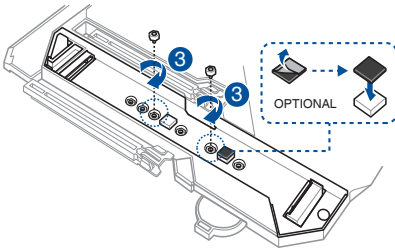
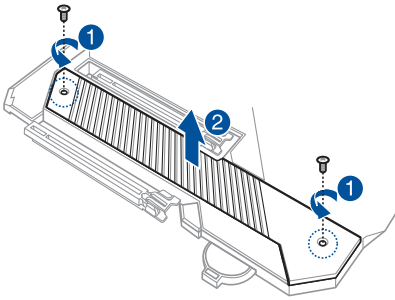


メモリーを取り外す

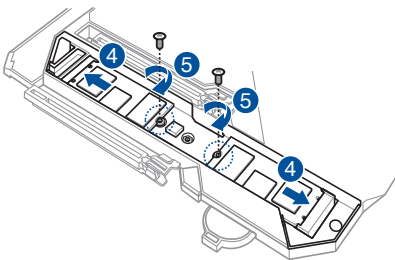


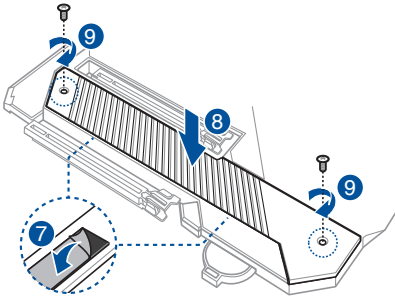
2.1.4 M.2 SSD を取り付ける

表面：M.2_1スロット、M.2_2スロット



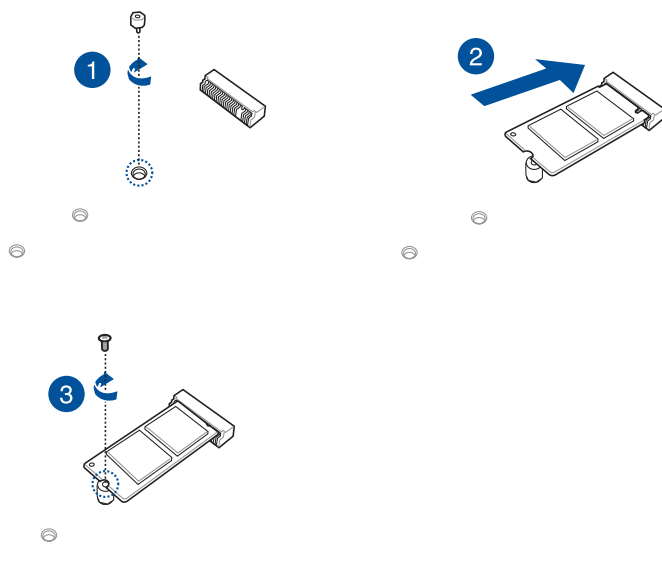
- 取り付ける M.2 SSD が部品を片面のみに搭載する片面実装タイプの場合は、付属のゴムパッドを貼り付けてからご使用ください。
- 取り付ける M.2 SSD が部品を両面に搭載する両面実装タイプの場合は、付属のゴムパッドを貼り付けないようご注意ください。





- M.2 SSDは必ず付属の M.2 固定用ネジで固定してください。マザーボード表面のスロットにM.2 SSDを取り付ける際は、付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー（長）をご使用ください。
- M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に Type 22110 カードを取り付けた場合、第2スロット (M.2_2) には Type 2242 カードのみ取り付けることができます。
- サーマルパッド保護フィルムの剥がし忘れが無いようにご注意ください。

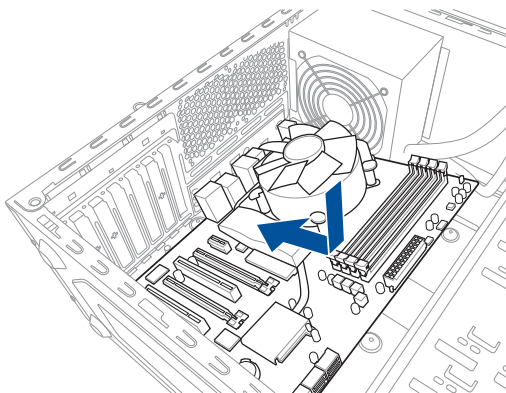
底面:M.2_3スロット



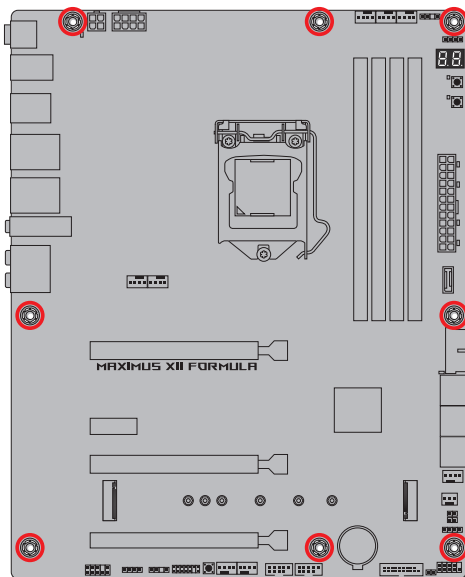
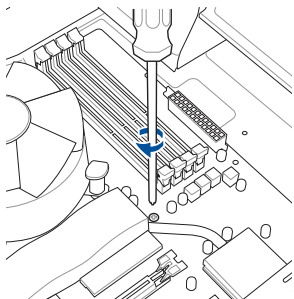
マザーボード底面のスロットにM.2 SSDを取り付ける際は、付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー（短）をご使用ください。

2.1.5 マザーボードを取り付ける

1. マザーボードフォームファクターに合わせPCケースにスペーサーを取り付けます。次に、PCケースとマザーボードのバックパネルの位置を合わせるように置きます。



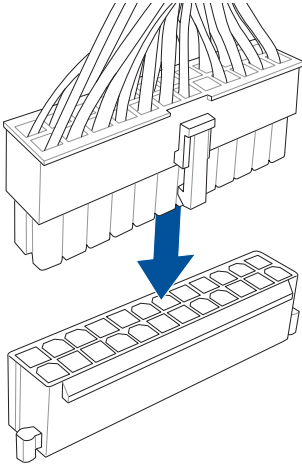
2. 下図を参考に、取り付けるネジをすべて仮止めし、対角線上に少しずつ締めていきます。



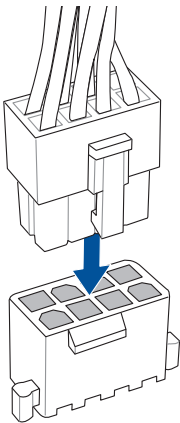
ネジはきつく締めすぎないように注意してください。

2.1.6 電源を取り付ける

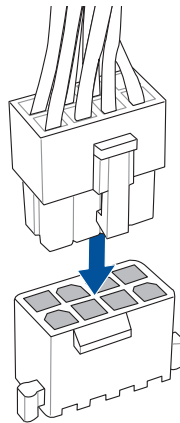
①



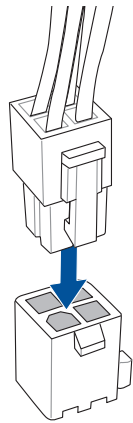
②



または

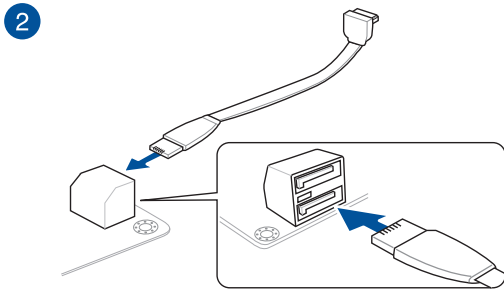
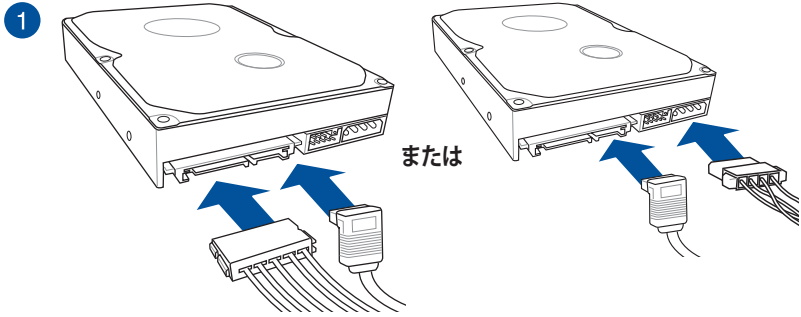


と



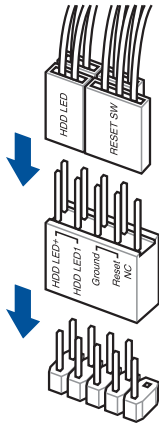
8ピン +12V電源コネクタには、必ず8ピン 電源コネクタを接続してください。

2.1.7 SATA デバイスを取り付ける

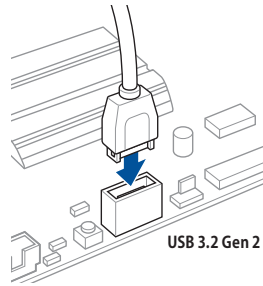


2.1.8 フロントI/Oを取り付ける

Q-Connector (システムパネルヘッダー)

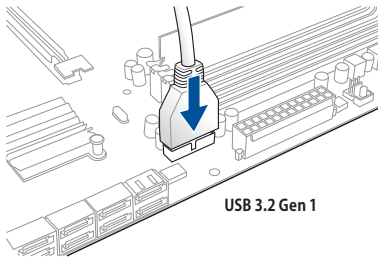


USB 3.2 Gen 2 コネクタ

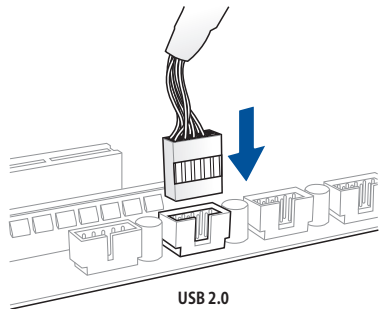


コネクタは接続できる向きが決まっています。端子形状を確認し、まっすぐ奥まで差し込んでください。

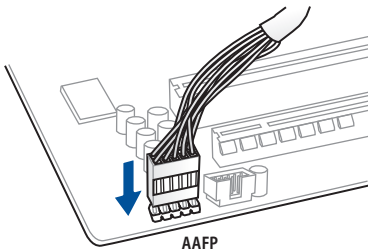
USB 3.2 Gen 1 ヘッダー



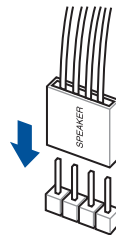
USB 2.0 ヘッダー



フロントパネルオーディオヘッダー

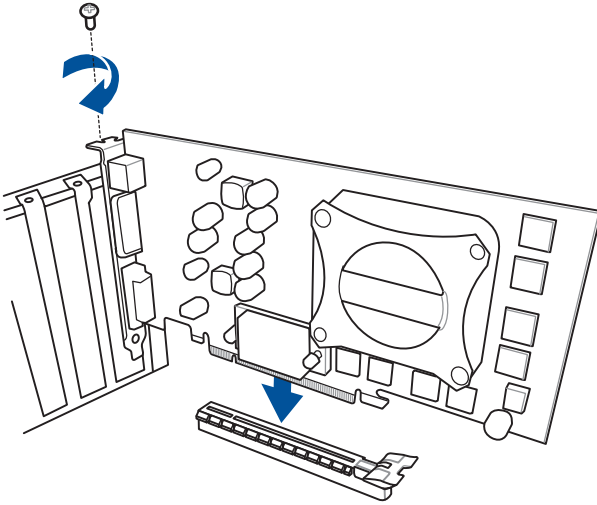


スピーカーヘッダー

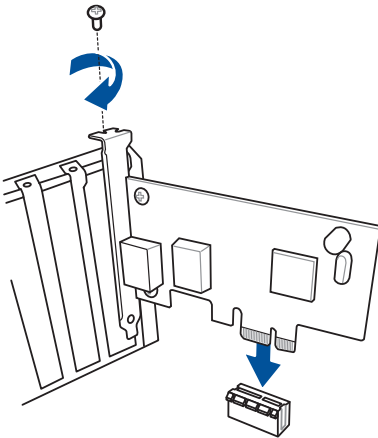


2.1.9 拡張カードを取り付ける

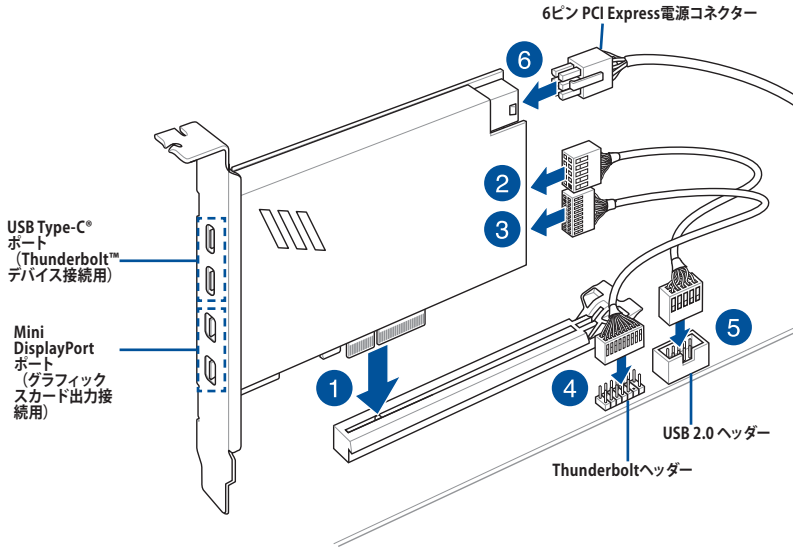
PCI Express x16 カード



PCI Express x1カード



ThunderboltEX 3-TR カード



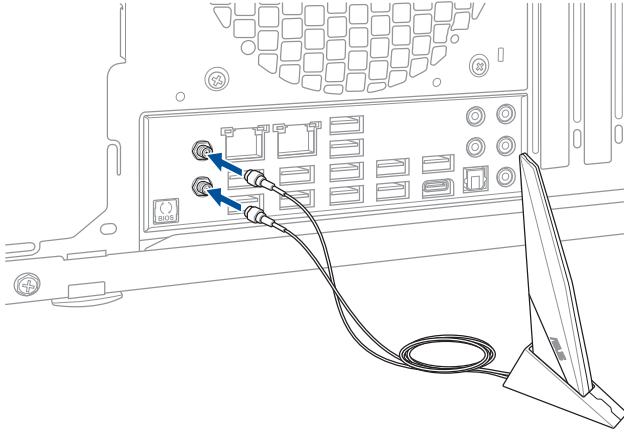
ThunderboltEX 3-TR カードは、チップセットが制御するPCI Expressスロットに取り付けることをお勧めします。



- 取付け方や使用方法は各製品に付属の取扱説明書に従ってください。
- ステップ6「6ピン PCI Express電源コネクタの接続」は、USB Type-C® ポートを使用して5V以上の急速充電を行う場合に接続してください。
- 6ピン PCI Express 電源コネクタが接続されている場合にのみ、USB Type-C® ポートのTypeC_1ポートは最大20V、TypeC_2ポートは最大9Vのデバイスをサポートします。

2.1.10 付属のアンテナを取り付ける

バックパネルの無線通信用アンテナポートに付属のアンテナを接続します。



- 使用中にアンテナが外れないよう、しっかりと取り付けてください。
- アンテナは人体から20cm以上離れた場所に設置してください。
- 無線通信機能は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できません。販売国以外で使用する場合はご注意ください。

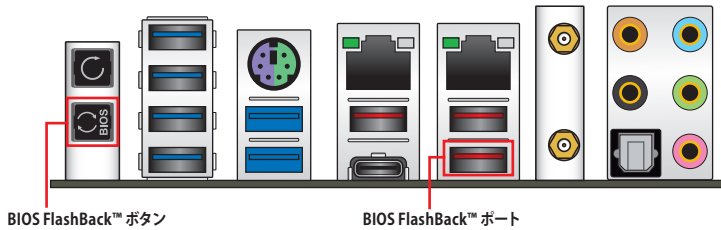
2.2 UEFI BIOSを更新する

BIOS FlashBack™

BIOS FlashBack™ はこれまでのBIOS更新ツールとはまったく違う、とても便利なUEFI BIOSの更新手段です。UEFI BIOS UtilityやOSを起動することなく、簡単にUEFI BIOSを更新することができます。CPUやメモリーの取り付けは不要で、特定のUSBポートにBIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーを接続し、BIOS FlashBack™ ボタンを数秒間押すだけで、スタンバイ電源で自動的にUEFI BIOSの更新を行なうことができます。

手順:

1. ASUS オフィシャルサイトからBIOS イメージファイルをダウンロードし、ダウンロードしたファイルを展開します。
2. 展開によって出現したBIOS イメージファイルの名前を「M12F.CAP」に変更します。
3. BIOS イメージファイルをUSB メモリーのルートディレクトリにコピーします。
4. コンピューターをシャットダウンし、BIOSイメージファイルを入れたUSBメモリーをBIOS FlashBack™ に対応するUSB ポートに接続します。
5. BIOS FlashBack™ ボタンが点滅を始めるまで、BIOS FlashBack™ ボタンを約3秒ほど長押しします。



6. BIOS FlashBack™ が完了するとLEDは消灯します。LEDが完全に消灯したことを確認してシステムを起動し、UEFI BIOS Utilityを確認します。



- UEFI BIOS更新中はUSBメモリーを取り外す、電源プラグを抜く、オンボードスイッチを押す、ジャンプスイッチの位置を変更するなど一切の行為を行わないようご注意ください。BIOS更新中に他の行為を行なった場合、UEFI BIOSの更新が中断する可能性があります。

- BIOS FlashBack™ LEDが5秒ほど点滅したあとで点灯状態となる場合は、BIOS FlashBack™ 機能が正常に動作していないことを示しています。

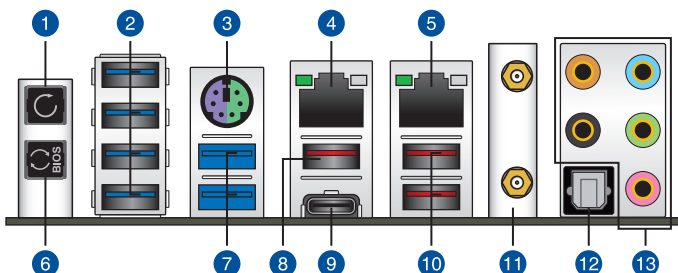
考えられる原因:

1. USBストレージが正しく取り付けられていない。
 2. サポート外のファイルシステム、またはファイル名が正しくない。
- このようなエラーが発生した場合は、電源ユニットのスイッチをオフにするなどしてシステムの電源を完全にオフにした後に再度実行してください。

- UEFI BIOSのアップデートにはリスクが伴います。UEFI BIOSのアップデートに失敗すると、UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSのアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

2.3 バックパネルとオーディオ接続

2.3.1 バックパネルインターフェース



バックパネルインターフェース

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 1. | CMOSクリアボタン |
| 2. | USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート |
| 3. | PS/2コンボポート |
| 4. | Marvell® AQtion AQC107 イーサネットポート* |
| 5. | Intel® I225-V イーサネットポート |
| 6. | BIOS FlashBack™ ボタン |
| 7. | USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート |
| 8. | USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート |
| 9. | USB 3.2 Gen 2 Type-C® ポート |
| 10. | USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート |
| 11. | 無線通信用アンテナポート |
| 12. | 光デジタル/DP/DF 出力ポート |
| 13. | オーディオポート** |

*/**: LEDの点灯内容、及びオーディオポートの構成は次のページでご確認ください。

* Marvell® AQtion AQ107 イーサネットポート - LEDインジケータ

| アクティブリンク LED | | スピードLED | |
|--------------|---------|---------|--------------------------------------|
| 状態 | 説明 | 状態 | 説明 |
| 消灯 | 未接続 | 消灯 | 未接続 |
| グリーン (点灯) | リンク確立 | グリーン | 10 Gbps |
| グリーン (点滅) | データ送受信中 | オレンジ | 5 Gbps/ 2.5 Gbps/ 1Gbps/ 100 Mbps |

アクティブリンク
LED スピードLED



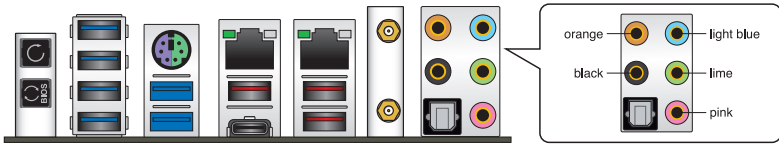
イーサネットポート

** オーディオ構成表

| ポート | ヘッドセット 2チャンネル | 4チャンネル | 5.1チャンネル | 7.1チャンネル |
|--------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ライトブルー | ライン入力 | ライン入力 | ライン入力 | サイドスピーカー出力 |
| ライム | ライン出力 | フロント スピーカー出力 | フロント スピーカー出力 | フロント スピーカー出力 |
| ピンク | マイク入力 | マイク入力 | マイク入力 | マイク入力 |
| オレンジ | - | - | センター/ サブウーファ | センター/ サブウーファ |
| ブラック | - | リア スピーカー出力 | リア スピーカー出力 | リア スピーカー出力 |

2.3.2 オーディオ接続

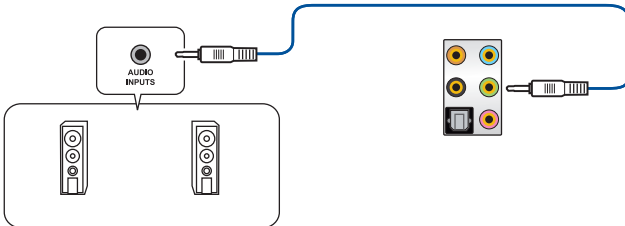
オーディオポート



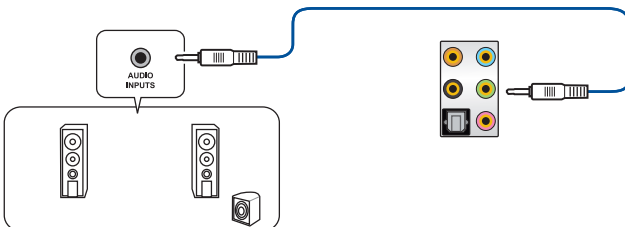
ヘッドホンとマイクを接続



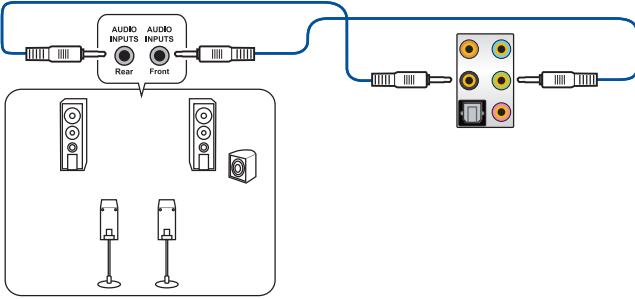
ステレオスピーカーに接続



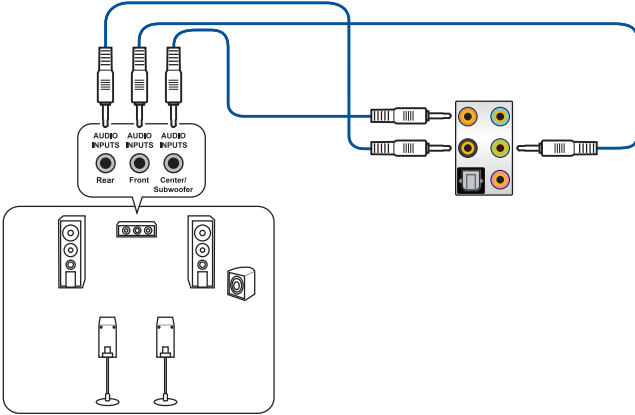
2チャンネルスピーカーに接続



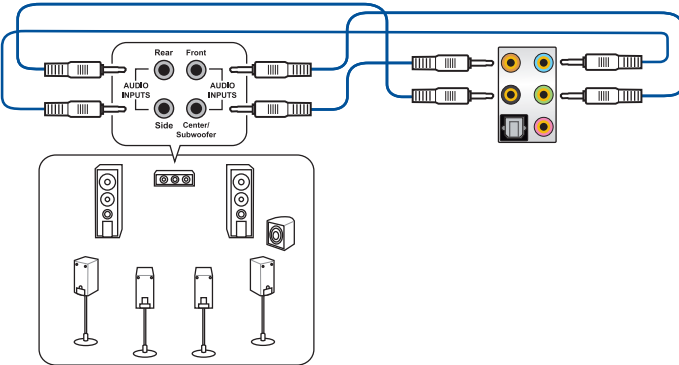
4 チャンネルスピーカーに接続



5.1 チャンネルスピーカーに接続



7.1 チャンネルスピーカーに接続



2.4 システムを起動する

1. すべてのコンポーネントやデバイスの取り付けが完了したら、PCケースのカバーを取り付けます。
2. すべてのスイッチがオフになっていることを確認します。
3. 電源ケーブルをPCケース背面の電源ユニットのコネクタに接続します。
4. 電源ケーブルをコンセントに接続します。
5. 以下の順番でデバイスの電源をオンにします。
 - a. モニター/ディスプレイ
 - b. 外部デバイス類 (デジチェーンの最後のデバイスから)
 - c. システム電源
6. 電源ユニットにスイッチがある場合はスイッチをオン状態にします。次にPCケースの電源ボタンを押してシステムの電源をオンにします。正常に電源がオンになるとシステム電源LEDが点灯します。また、ディスプレイがスタンバイ状態の場合、システムの電源をオンにするとディスプレイは自動的にスタンバイ状態から復帰します。

次に、システムはPOST(Power On Self Test)と呼ばれる起動時の自己診断テストを実行します。このPOST時に問題が確認された場合はBIOSによりビープ音が発せられるか、ディスプレイ画面上にエラーメッセージが表示されます。

システムの電源をオンにしてから30秒以上経過してもディスプレイ画面になにも表示されない場合は、電源オンテストに失敗した可能性があります。ジャンパー設定や取り付けたデバイスの状態を確認し、問題が解決しない場合は各メーカーや販売店にご相談ください。次の表はビープ音が示すエラーの内容です。

| UEFI BIOS ビープ | 説明 |
|---|---|
| 短いビープ1回 (・) | グラフィックスカードの検出(正常起動) クイックブート設定が無効(正常起動) キーボード検出エラー |
| 長いビープ1回+短いビープ2回 同じパターンで繰り返し (-・・) | メモリー検出エラー |
| 長いビープ1回+短いビープ3回 (-・・・) | グラフィックスカード検出エラー |
| 長いビープ1回+短いビープ4回 (-・・・・) | ハードウェアエラー |

7. POST中にキーボードの<F2>または<Delete>を押すとUEFI BIOS Utilityを起動することができます。UEFI BIOS Utilityについて、詳細はChapter 3をご参照ください。

2.5 システムの電源をオフにする

OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、システムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッチを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にオフになります。この機能は、OSやシステムがハングアップ(ロック)して、通常のシステム終了作業が行えない場合のみご使用ください。強制終了は各コンポーネントに負担をかけます。万一の場合を除き頻繁に強制終了をしないようご注意ください。

BIOSとRAID

3



UEFI BIOS UtilityとRAIDの設定方法について、詳しくは弊社Webサイトに掲載のマニュアルをご覧ください。

3.1 UEFIとは



ASUS UEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカルでユーザーフレンドリーなインターフェースです。OSを使用するのと同じくらい簡単に操作することができます。* EFI (UEFI) が従来のBIOSと同じ機能を持つことから、ASUSはEFI (UEFI) を「**UEFI BIOS**」、「**BIOS**」と表記します。

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) は、Intel 社が提唱している、従来パソコンのハードウェア制御を担ってきた BIOS に代わる、OS とファームウェアのインターフェース仕様です。UEFI は非常に高機能な最新のファームウェアで従来の BIOS と違い拡張性に富んでいます。UEFI の設定はマザーボードの CMOS RAM (CMOS) に保存されています。通常、UEFI のデフォルト設定はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、**デフォルト設定のままで使用することをお勧めします**。

- システム起動中にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utility を起動するように指示があった場合
- UEFI BIOS の設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合



不適切な設定を行なうと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者等のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

3.2 UEFI BIOS Utility

BIOS (Basic Input and Output System) とは、マザーボードに接続されたコンポーネント・デバイスを制御するシステムプログラムです。コンピューターの起動時に最初に起動するプログラムで、記憶装置の構成、オーバーキロック設定、電源の管理、起動デバイス設定などのシステムハードウェアの設定をすることができます。

本製品にはBIOSに代わるUEFI (Unified Extensible Firmware Interface) が搭載されています。UEFI BIOS Utility では各種パラメーターの調整や各種機能の有効/無効、BIOSイメージの更新などを行なうことができます。

コンピューターの起動時にUEFI BIOS Utilityを起動する

システムは起動時にPOST (Power On Self Test) と呼ばれる起動時の自己診断テストを実行します。このPOST中に<F2>または<Delete>を押すことでUEFI BIOS Utility を起動することができます。



- マウスでUEFI BIOS Utilityの操作を行なう場合は、USBマウスをマザーボードに接続してからシステムの電源をオンにしてください。
- 設定を変更した後システムが不安定になる場合は、デフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定に戻すには、<F5>を押すか Exitメニューの「**Load Optimized Defaults**」を実行します。
- 設定を変更した後システムが起動しなくなった場合は、CMOSクリアを実行しUEFI BIOS Utility設定をリセットしてください。
- UEFI BIOS UtilityはBluetooth デバイスには対応していません。

メニュー画面

UEFI BIOS Utilityには、**EZ Mode**と**Advanced Mode**の2つのモードがあります。モードの切り替えは<F7>を押すか、画面右下の「**Advanced Mode(F7)**」/「**EZ Mode(F7)**」ボタンを押すことで簡単に切り替えることができます。

3.3 EZ Update

EZ Updateは、Windows® 環境でUEFI BIOSの更新を行なうことができるユーティリティです。オンラインでUEFI BIOSや各種ユーティリティを更新することができます。



EZ Update を使用するには、インターネット接続が必要です。

3.4 ASUS EZ Flash 3 Utility

ASUS EZ Flash 3 Utility は、OSベースのユーティリティを起動することなくUEFI BIOSを短時間で更新することができます。



安全性及び信頼性を確保するため、**Load Optimized Defaults** を実行しUEFI BIOSの設定を初期設定値に戻してから更新を行なってください。

UEFI BIOSを更新する：



- 安全性及び信頼性を確保するため、FAT32/16ファイルシステムをもつシングルパーティションのUSBメモリーなどをご使用ください。
- UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSの更新に伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

1. BIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーをシステムにセットします。
2. UEFI BIOS UtilityのAdvanced Mode を起動し、Tool メニューから「**ASUS EZ Flash 3 Utility**」を起動します。
3. DriveフィールドでBIOSイメージファイルが保存されているUSBメモリーを選択し<Enter>を押します。
4. Folderフィールドで更新に使用するBIOSイメージファイルを選択し<Enter>を押します。
5. 読み込まれたBIOSイメージファイルが正しいことを確認し、UEFI BIOSの更新を開始します。
6. UEFI BIOSの更新が完了したら、「**OK**」ボタンを押してシステムを再起動します。

3.5 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 はUEFI BIOSを復旧することができるツールです。更新時などに破損したUEFI BIOSをUSBメモリーを使用して復旧することができます。



- 最新のBIOSイメージファイルは、ASUS公式サイト (<http://www.asus.com>) からダウンロードすることができます。
- 本機能を使用する前にUSBメモリーに保存したBIOSイメージファイルの名前を「M12F.CAP」に変更してください。

UEFI BIOSを復旧する

手順

1. BIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーをシステムにセットします。
2. システムの電源をオンにします。
3. USBメモリーのBIOSイメージファイルが検出されると、BIOSイメージファイルを読み込み自動的にUEFI BIOSの復旧を開始します。
4. UEFI BIOSの復旧が完了したら、UEFI BIOS UtilityでLoad Optimized Defaults を実行して設定を初期設定値に戻します。



UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSの更新に伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

3.6 RAID

本製品は、Intel® Rapid Storage TechnologyによるRAID (Redundant Array of Inexpensive Disks) レベル 0、1、5、10 をサポートしています。



RAIDの設定方法について、詳しくは弊社Webサイトに掲載のマニュアルをご覧ください。

RAID定義

RAID 0 (データストライピング):

SATAストレージデバイスに対しパラレル方式でデータを読み/書きします。それぞれのSATAストレージデバイスの役割はシングルドライブと同じですが、転送率はアレイに参加している台数倍に上り、データへのアクセス速度を向上させます。セットアップには、最低2台のSATAストレージデバイス (同じモデル、同容量) が必要です。

RAID 1 (データミラーリング):

1台目のドライブから、2台目のドライブに、同じデータイメージをコピーし保存します。ドライブが1台破損しても、ディスクアレイマネジメントソフトウェアが、アプリケーションを正常なドライブに移動することによって、完全なコピーとして残ります。システム全体のデータプロテクションとフォールト・トレランスを向上させます。セットアップには、最低2台の新しいSATAストレージデバイス、または、既存のドライブと新しいドライブが必要です。既存のドライブを使う場合、新しいドライブは既存のものと同じサイズかそれ以上である必要があります。

RAID 5 (パリティ付きストライピング):

3台以上のSATAストレージデバイス間のデータとパリティ情報をストライピングします。利点は、SATAストレージデバイスのパフォーマンスの向上、フォールト・トレランス、記憶容量の増加です。データのやり取り、相関的なデータベースのアプリケーション、企業内のリソース作成など、ビジネスにおけるシステムの構築に最適です。セットアップには最低3台の同じSATAストレージデバイスが必要です。

RAID 10 (ミラーリング + ストライピング):

データストライピングとデータミラーリングをパリティ (冗長データ) なしで結合したものです。RAID 0とRAID 1構成のすべての利点が得られます。セットアップには、最低4台のSATAストレージデバイスが必要です。

付録

Q-Code表

| コード | 説明 |
|---------|--|
| 00 | 未使用 |
| 01 | 電源投入タイプ検出 (ソフト/ハード) のリセット |
| 02 | マイクロコードロード前の AP 初期化 |
| 03 | マイクロコードロード前のシステムエージェント 初期化 |
| 04 | マイクロコードロード前の PCH 初期化 |
| 06 | マイクロコードロード |
| 07 | マイクロコードロード後の AP 初期化 |
| 08 | マイクロコードロード後のシステムエージェント初期化 |
| 09 | マイクロコードロード後の PCH 初期化 |
| 0B | キャッシュ初期化 |
| 0C-0D | 将来の AMI SEC エラーコードのために予約済み |
| 0E | マイクロコードが見つからない |
| 0F | マイクロコードがロードされていない |
| 10 | PEI コア起動 |
| 11 - 14 | プリメモリー-CPU 初期化を開始 |
| 15 - 18 | プリメモリー-システムエージェント初期化の開始 |
| 19 - 1C | プリメモリー-PCH 初期化を開始 |
| 2B - 2F | メモリー初期化 |
| 30 | ASL用に予約 |
| 31 | メモリー装着済み |
| 32 - 36 | CPUポストメモリー初期化 |
| 37 - 3A | ポストメモリー-システムエージェント初期化の開始 |
| 3B - 3E | ポストメモリー-PCH 初期化の開始 |
| 4F | DXE IPLを開始 |
| 50 - 53 | メモリーの初期化エラー 無効なメモリータイプまたは互換性のないメモリー速度 |
| 54 | 未指定のメモリー初期化エラー |
| 55 | メモリーが取り付けられていない |
| 56 | 無効な CPU タイプまたは速度 |
| 57 | CPU の不一致 |
| 58 | CPU 自己診断が失敗したか、CPU キャッシュエラーの可能性 |
| 59 | CPU マイクロコードが見つからないか、マイクロコードの更新が失敗 |
| 5A | 内部 CPU エラー |
| 5B | リセット PPI が使用不可 |
| 5C - 5F | 将来の AMI エラーコードのために予約済み |

Q-Code表

| コード | 説明 |
|---------|--|
| E0 | S3 再開が開始される (S3 再開 PPI が DXE IPL によって呼び出される) |
| E1 | S3 ブートスクリプト実行 |
| E2 | ビデオ再投稿 |
| E3 | OS S3 ウェークベクトルコール |
| E4 – E7 | 将来の AMI 進行状況コードのために予約済み |
| E8 | S3 再開が失敗 |
| E9 | S3 再開 PPI が見つからない |
| EA | S3 再開ブートスクリプトエラー |
| EB | S3 OS ウェークエラー |
| EC – EF | 将来の AMI エラーコードのために予約済み |
| F0 | ファームウェアによって引き起こされた復旧状態 (自動復旧) |
| F1 | ユーザーによって引き起こされた復旧状態 (強制復旧) |
| F2 | 復旧プロセス開始 |
| F3 | 復旧ファームウェアイメージが見つかりました |
| F4 | 復旧ファームウェアイメージがロードされる |
| F5 – F7 | 将来の AMI 進行状況コードのために予約済み |
| F8 | 復旧 PPI が使用不可 |
| F9 | 復旧カプセルが見つからない |
| FA | 無効な復旧カプセル |
| FB – FF | 将来の AMI エラーコードのために予約済み |
| 60 | DXE コアが起動 |
| 61 | NVRAM の初期化 |
| 62 | PCH ランタイムサービスのインストール |
| 63 – 67 | CPU DXE 初期化 |
| 68 | PCI ホストブリッジ初期化 |
| 69 | システムエージェントDXE 初期化開始 |
| 6A | システムエージェントDXE SMM 初期化開始 |
| 6B – 6F | システムエージェントDXE 初期化 (システムエージェント モジュール固有) |
| 70 | PCH DXE 初期化開始 |
| 71 | PCH DXE SMM 初期化開始 |
| 72 | PCH デバイス初期化 |
| 73 – 77 | PCH DXE 初期化 (PCH モジュール用) |
| 78 | ACPI モジュール初期化 |
| 79 | CSM 初期化 |
| 7A – 7F | 将来の AMI DXE コードのために予約済み |

Q-Code表

| コード | 説明 |
|---------|--|
| 90 | ブートデバイス選択 (BDS) フェーズが開始 |
| 91 | ドライバー接続開始 |
| 92 | PCIバス初期化開始 |
| 93 | PCIバスホットプラグコントローラー初期化 |
| 94 | PCIバス列挙型 |
| 95 | PCIバスリクエストリソース |
| 96 | PCIバス割り当てリソース |
| 97 | コンソール出力デバイス接続 |
| 98 | コンソール入力デバイス接続 |
| 99 | スーパーIO 初期化 |
| 9A | USB 初期化開始 |
| 9B | USB リセット |
| 9C | USB 検出 |
| 9D | USB 有効 |
| 9E - 9F | 将来の AMI コードのために予約済み将来の AMI コードのために予約済み |
| A0 | IDE 初期化開始 |
| A1 | IDE リセット |
| A2 | IDE 検出 |
| A3 | IDE 有効 |
| A4 | SCSI 初期化開始 |
| A5 | SCSI リセット |
| A6 | SCSI 検出 |
| A7 | SCSI 有効 |
| A8 | 確認パスワードのセットアップ |
| A9 | セットアップの開始 |
| AA | ASL用に予約済み |
| AB | セットアップ入力待機 |
| AC | ASL用に予約 (ACPI/ASL ステータスコードをご参照ください) |
| AD | ブート可能イベント |
| AE | レガシーブートイベント |
| AF | ブートサービス終了イベント |
| B0 | ランタイム設定仮想アドレス MAP 開始 |
| B1 | ランタイム設定仮想アドレス MAP 終了 |
| B2 | レガシーオプション ROM の初期化 |
| B3 | システムのリセット |

Q-Code表

| コード | 説明 |
|-------|--------------------------------------|
| B4 | USB ホットプラグ |
| B5 | PCI バスホットプラグ |
| B6 | NVRAM のクリーンアップ |
| B7 | 構成リセット (NVRAM 設定のリセット) |
| B8–BF | 将来の AMI コードのために予約済み |
| D0 | CPU 初期化 エラー |
| D1 | システムエージェント 初期化 エラー |
| D2 | PCH 初期化 エラー |
| D3 | 一部のアーキテクチャプロトコルが使用不可 |
| D4 | PCI リソース割り当てエラー リソース不足 |
| D5 | レガシーオプション ROM の容量なし |
| D6 | コンソール出力デバイスが見つからない |
| D7 | コンソール入力デバイスが見つからない |
| D8 | 無効なパスワード |
| D9 | ブートオプションのロードエラー (LoadImage がエラーを返した) |
| DA | ブートオプション失敗 (StartImage がエラーを返した) |
| DB | フラッシュ更新失敗 |
| DC | リセットプロトコルが使用不可 |

ACPI/ASL チェックポイント (OS環境下)

| ステータスコード | 説明 |
|----------|---|
| 03 | システムは S3 スリープ状態に入っています。 |
| 04 | システムは S4 スリープ状態に入っています。 |
| 05 | システムは S5 スリープ状態に入っています。 |
| 30 | システムは S3 スリープ状態からウェイクアップしています。 |
| 40 | システムは S4 スリープ状態からウェイクアップしています。 |
| AC | システムは ACPI モードになりました。割り込みコントローラーは PIC モードです。 |
| AA | システムは ACPI モードになりました。割り込みコントローラーは APIC モードです。 |

特記事項

FCC Compliance Information

Responsible Party: Asus Computer International
Address: 48720 Kato Rd., Fremont, CA 94538, USA
Phone / Fax No: (510)739-3777 / (510)608-4555

Identification of the assembled product: INTEL® WI-FI 6 AX201

Identification of the modular components used in the assembly:

Model Name: INTEL® WI-FI 6 AX201 FCC ID: PD9AX201NG

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF exposure warning

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provide with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

Compliance Statement of Innovation, Science and Economic Development Canada (ISED)

This device complies with Innovation, Science and Economic Development Canada licence exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Operation in the band 5150–5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

Déclaration de conformité de Innovation, Sciences et Développement économique Canada (ISED)

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

La bande 5150–5250 MHz est réservée uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

VCCI: Japan Compliance Statement

Class B ITE

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

KC: Korea Warning Statement

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

*당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

Google™ License Terms

Copyright© 2020 Google Inc. All Rights Reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at:

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

NCC: Taiwan Wireless Statement

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

應避免影響附近雷達系統之操作。

Japan RF Equipment Statement

屋外での使用について

本製品は、5GHz帯域での通信に対応しています。電波法の定めにより5.2GHz、5.3GHz帯域の電波は屋外で使用が禁じられています。

法律および規制遵守

本製品は電波法及びこれに基づく命令の定めるところに従い使用してください。日本国外では、その国の法律または規制により、本製品の使用ができないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果、罰せられることがあります。当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

Précautions d'emploi de l'appareil :

- Soyez particulièrement vigilant quant à votre sécurité lors de l'utilisation de cet appareil dans certains lieux (les avions, les aéroports, les hôpitaux, les stations-service et les garages professionnels).
- Évitez d'utiliser cet appareil à proximité de dispositifs médicaux implantés. Si vous portez un implant électronique (stimulateurs cardiaques, pompes à insuline, neurostimulateurs...), veuillez impérativement respecter une distance minimale de 15 centimètres entre cet appareil et l'implant pour réduire les risques d'interférence.
- Utilisez cet appareil dans de bonnes conditions de réception pour minimiser le niveau de rayonnement. Ce n'est pas toujours le cas dans certaines zones ou situations, notamment dans les parkings souterrains, dans les ascenseurs, en train ou en voiture ou tout simplement dans un secteur mal couvert par le réseau.
- Tenez cet appareil à distance du ventre des femmes enceintes et du bas-ventre des adolescents.

Declaration of compliance for product environmental regulation

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to <http://csr.asus.com/Compliance.htm> for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with:

EU REACH and Article 33

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.

EU RoHS

This product complies with the EU RoHS Directive. For more details, see <http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=35>

India RoHS

This product complies with the “India E-Waste (Management) Rules, 2016” and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls (PBBs) and polybrominated diphenyl ethers (PBDEs) in concentrations exceeding 0.1% by weight in homogenous materials and 0.01% by weight in homogenous materials for cadmium, except for the exemptions listed in Schedule II of the Rule.

Vietnam RoHS

ASUS products sold in Vietnam, on or after September 23, 2011, meet the requirements of the Vietnam Circular 30/2011/TT-BCT.

Các sản phẩm ASUS bán tại Việt Nam, vào ngày 23 tháng 9 năm 2011 trở về sau, đều phải đáp ứng các yêu cầu của Thông tư 30/2011/TT-BCT của Việt Nam.

Turkey RoHS

AEEE Yönetmeliğine Uygundur

ASUS Recycling/Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for you to be able to responsibly recycle our products, batteries, other components as well as the packaging materials. Please go to <http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> for detailed recycling information in different regions.



DO NOT throw the motherboard in municipal waste. This product has been designed to enable proper reuse of parts and recycling. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the product (electrical and electronic equipment) should not be placed in municipal waste. Check local regulations for disposal of electronic products.



DO NOT throw the mercury-containing button cell battery in municipal waste. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the battery should not be placed in municipal waste.

Regional notice for California



WARNING

Cancer and Reproductive Harm -
www.P65Warnings.ca.gov

Simplified EU Declaration of Conformity

ASUSTek Computer Inc. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. Full text of EU declaration of conformity is available at <https://www.asus.com/support/>

The WiFi operating in the band 5150-5350MHz shall be restricted to indoor use for countries listed in the table below:

Déclaration simplifiée de conformité de l'UE

ASUSTek Computer Inc. déclare par la présente que cet appareil est conforme aux critères essentiels et aux autres clauses pertinentes de la directive 2014/53/UE. La déclaration de conformité de l'UE peut être téléchargée à partir du site internet suivant : <https://www.asus.com/support/>

Dans la plage de fréquence 5150-5350 MHz, le Wi-Fi est restreint à une utilisation en intérieur dans les pays listés dans le tableau ci-dessous:

Vereinfachte EU-Konformitätserklärung

ASUSTek COMPUTER INC erklärt hiermit, dass dieses Gerät mit den grundlegenden Anforderungen und anderen relevanten Bestimmungen der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmt. Der gesamte Text der EU-Konformitätserklärung ist verfügbar unter: <https://www.asus.com/support/>

Der WLAN-Betrieb im Band von 5150-5350 MHz ist für die in der untenen Tabelle aufgeführten Länder auf den Innenbereich beschränkt:

Dichiarazione di conformità UE semplificata

ASUSTek Computer Inc. con la presente dichiara che questo dispositivo è conforme ai requisiti essenziali e alle altre disposizioni pertinenti con la direttiva 2014/53/UE. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile all'indirizzo: <https://www.asus.com/support/>

L'utilizzo della rete Wi-Fi con frequenza compresa nell'intervallo 5150-5350MHz deve essere limitato all'interno degli edifici per i paesi presentati nella seguente tabella:

Упрощенное заявление о соответствии европейской директиве

ASUSTek Computer Inc. заявляет, что устройство соответствует основным требованиям и другим соответствующим условиям директивы 2014/53/UE. Полный текст декларации соответствия ЕС доступен на <https://www.asus.com/support/>

Работа WiFi в диапазоне частот 5150-5350 должна быть ограничена использованием в помещениях для стран, перечисленных в таблице ниже:

إعلان التوافق المبسط الصادر عن الاتحاد الأوروبي
تقر شركة ASUS/ASUSTek Computer Inc هذا الجهاز بتوافق مع المتطلبات الأساسية والأحكام الأخرى ذات الصلة الخاصة بتوجيه 2014/53/UE. تتوفر النص الكامل لإعلان التوافق الصادر عن الاتحاد الأوروبي على: <https://www.asus.com/support/>
يجب حصر استخدام WiFi العاملة بـ 5150-5350 ميجا هرتز على الاستخدام المنزلي للبلدان المدرجة بالجدول.

Опрощенная декларация за съответствие на ЕС

С настоящото ASUSTek Computer Inc. декларира, че това устройство е в съответствие със съществените изисквания и другите приложими постановления на свързаната Директива 2014/53/ЕС. Пълният текст на ЕС декларация за съответствие е достъпен на адрес <https://www.asus.com/support/>

WiFi, работеща в диапазон 5150-5350MHz, трябва да се ограничи до употреба на закрито за страните, посочени в таблицата по-долу:

Declaração de Conformidade UE Simplificada

ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e as outras disposições relevantes relacionadas às diretivas 2014/53/UE. O texto completo da declaração de conformidade CE está disponível em <https://www.asus.com/support/>

O WiFi operando na banda 5150-5350MHz deve ser restrito para uso interno para os países listados na tabela abaixo:

Поједностављена ЕУ изјава о сукладности

ASUSTek Computer Inc. овим изјављује да је овај уређај сукладан с битним захтевима и осталим одговарајућим одредбама директиве 2014/53/ЕУ. Цјели текст ЕУ изјаве о сукладности доступан је на <https://www.asus.com/support/>.
WiFi који ради на опсегу фреквенција 5150-5350 MHz бит ће ограничени на употребу у затвореном простору у земљама на доњем попису:

Zjednodušené prohlášení o shodě EU

Společnost ASUSTek Computer Inc. tímto prohlašuje, že toto zařízení splňuje základní požadavky a další příslušná ustanovení směrnice 2014/53/ EU. Plné znění prohlášení o shodě EU je k dispozici na adrese <https://www.asus.com/support/>

V zemích uvedených v tabulce je provoz sítě Wi-Fi ve frekvenčním rozsahu 5 150 - 5 350 MHz povolen pouze ve vnitřních prostorech:

Forenkiet EU-oversensstemmelseerklæring

ASUSTek Computer Inc. erklærer hermed at denne enhed er i overensstemmelse med hovedkravene og øvrige relevante bestemmelser i direktivet 2014/53/EU. Hele EU-oversensstemmelseerklæringen kan findes på <https://www.asus.com/support/>

Wi-Fi, der bruger 5150-5350 MHz skal begrænses til indendørs brug i lande, der er anført i tabellen:

Vereenvoudigd EU-conformiteitsverklaring

ASUSTek Computer Inc. verklaart hierbij dat dit apparaat voldoet aan de essentiële vereisten en andere relevante bepalingen van Richtlijn 2014/53/ EU. De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring is beschikbaar op <https://www.asus.com/support/>

De WiFi op 5150-5350MHz zal beperkt zijn tot binnengebruik voor in de tabel vermelde landen:

Lihtsustatud EÜ vastavusdeklaratsioon

Käesolevaga kinnitab ASUSTek Computer Inc, et seade vastab direktiivi 2014/53/EÜ olulistele nõuetele ja teistele asjakohastele sätetele. EL vastavusdeklaratsiooni täisteksti on saadaval veebisaidil <https://www.asus.com/support/>

Sagedusvahemikus 5150-5350MHz töötava WiFi kasutamise on järgmistes riikides lubatud ainult siseruumides:

Eurooppa - EY'n vaatimustenmukaisuusvakuutus

ASUSTek Computer Inc. ilmoittaa täten, että tämä laite on direktiivin 2014/53/EU olennaisien vaatimusten ja muiden asiaankuuluvien lisäysten mukainen. Koko EY:n vaatimustenmukaisuusvakuutuksen teksti on luettavissa osoitteessa <https://www.asus.com/support/>

5 150 - 5 350 MHz:in taajuudella toimiva WiFi on rajoitettu sisäkäyttöön taulukossa luetelluissa maissa:

تیجعت از نسخه ساده شده بیانیه تطبیحی اروپا
ASUSTek Computer Inc در اینجا اعلام می کند که این دستگاه با نیازهای اساسی و سایر مقررات مربوط به بیانیه 2014/53/UE مطابقت دارد. متن کامل پیروی از این بیانیه تطبیحی اروپا در این آدرس موجود است: <https://www.asus.com/support/>
مطابق با استاندارد 5150-5350 مگاهرتز برای WiFi باید برای استفاده در فضای داخلی ساختمان برای کشورهای فهرست شده در جدول، محدود شود.

Απλοποιημένη Δήλωση Συμμόρφωσης ΕΕ

Διά το παρόντος η ASUSTek Computer Inc. δηλώνει ότι αυτή η συσκευή είναι συμμόρφη με τις βασικές προϋποθέσεις και άλλες σχετικές διατάξεις της Οδηγίας 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης της ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση <https://www.asus.com/support/>

To WiFi που λειτουργεί στη ζώνη 5150-5350MHz περιορίζεται για χρήση σε εσωτερικούς χώρους για τις χώρες που αναφέρονται στον παρακάτω πίνακα:

הצהרת האימות הרגולטורית מקוצרת עבור האיחוד האירופי
מזהירה ASUSTek Computer Inc. מהירושם כי מכשיר זה תואם לדרישות החיוביות ולשאר העיפיים הרלוונטים של תקנה 2014/53/UE. ניתן לקרוא את הטקסט המלא של הצהרת האימות הרגולטורית עבור האיחוד האירופי בתחבול: <https://www.asus.com/support/>

יש להגביל תשתות Wi-Fi הפועלות ברצועות התדרים 5150-5350MHz לשימוש בתוך מבנים סגורים בארצות המפורטות ברשימה הבאה:

Egyszerűsített EU megfelelési nyilatkozat

Az ASUSTek Computer Inc. ezennel kijelenti, hogy ez az eszköz megfelel az 2014/53/EU sz. irányelv alapvető követelményeinek és egyéb vonatkozó rendelkezéseinek. Az EU megfelelési nyilatkozat teljes szövegét a következő weboldalon tekintheti meg: <https://www.asus.com/support/>

Az 5150-5350 MHz-es sávban működő Wi-Fi-t beltéri használatra kell korlátozni az alábbi táblázatban felsorolt országokban:

Pernyataan Kesesuaian UE yang Disederhanakan

ASUSTek Computer Inc. dengan ini menyatakan bahwa perangkat ini memenuhi persyaratan utama dan ketentuan relevan lainnya yang terdapat pada Peraturan 2014/53/UE. Teks lengkap pernyataan kesesuaian EU tersedia di: <https://www.asus.com/support/>

WiFi yang Beroperasi pada 5150-5350 MHz akan terbatas untuk penggunaan dalam ruangan di negara yang tercantum dalam tabel

Vienkārtota ES atbilstības paziņojums

ASUSTek Computer Inc. ar šo paziņo, ka šī ierīce atbilst Direktīvas 2014/53/ES būtiskajām prasībām un citiem citiem saistošajiem nosacījumiem. Pilns ES atbilstības paziņojuma teksts pieejams šeit: <https://www.asus.com/support/>

Wi-Fi darbība 5150-5350 MHz ir jāierobežo lietošanai telpās valstīs, kuras norādītas tālāk.

Supaprastinta ES atitikties deklaracija

Šiame dokumente bendrovė „ASUSTek Computer Inc.“ pareiškia, kad šis prietaisas atitinka pagrindinius reikalavimus ir kitas susijusias Direktyvos 2014/53/ES nuostatas. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas pateikiamas čia: <https://www.asus.com/support/>

Toliau nurodytose šalyse „WiFi“ ryšiu, veikiančiu 5 150-5 350 MHz dažnio juostoje, galima naudotis tik patalpose:

Ovaj uredaj može da se koristi u državama navedenim ispod:

Forenklet EU-samsvarserklæring

ASUSTek Computer Inc. erklærer herved at denne enheten er i samsvar med hovedskillete krav og andre relevante forskrifter i direktivet 2014/53/EU.

Fullstendig tekst for EU-samsvarserklæringen finnes på:

<https://www.asus.com/support/>

Wi-Fi-området 5150–5350 MHz skal begrenses til innendørs bruk for landene som er oppført i tabellen:

Uproszczone deklaracja zgodności UE

Firma ASUSTek Computer Inc. niniejszym oświadczam, że urządzenie to jest zgodne z zasadniczymi wymogami i innymi właściwymi postanowieniami dyrektywy 2014/53/UE. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod adresem <https://www.asus.com/support/>

W krajach wymienionych w tabeli działania sieci Wi-Fi w paśmie 5150–5350 MHz powinno być ograniczone wyłącznie do pomieszczeń:

Declaração de Conformidade Simplificada da UE

A ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e outras disposições relevantes da Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade da UE está disponível em <https://www.asus.com/support/>

A utilização das frequências WiFi de 5150 a 5350MHz está restrita a ambientes interiores nos países apresentados na tabela:

Declaración de conformidad UE, versión simplificada

Prin prezenta, ASUSTek Computer Inc. declară că acest dispozitiv este în conformitate cu regulamentele esențiale și cu celelalte prevederi relevante ale Directivei 2014/53/UE. Textul complet al declarației de conformitate UE este disponibil la adresa <https://www.asus.com/support/>

Pentru țările listate în tabelul de mai jos, rețelele WiFi care funcționează în banda de frecvență de 5.150-5.350 MHz trebuie utilizate doar în interior:

Pojednostavljena Deklaracija o uslagšenosti EU

ASUSTek Computer Inc. ovim izjavljuje da je ovaj uređaj usaglašen sa osnovnim zahtevima i drugim relevantnim odredbama Direktive 2014/53/EU. Ceo tekst Deklaracije o uslagšenosti EU dostupan je na lokaciji <https://www.asus.com/support/>

WiFi koji radi u frekventnom opsegu od 5150 MHz do 5350 MHz ograničen je isključivo na upotrebu u zatvorenom prostoru za zemlje navedene u tabeli ispod:

Zjednodušené vyhlásenie o zhode platné pre EÚ

Spoločnosť ASUSTek Computer Inc. týmto vyhlasuje, že toto zariadenie je v súlade so základnými požiadavkami a ďalšími príslušnými ustanoveniami smernice č. 2014/53/EÚ. Plné znenie vyhlásenia o zhode pre EÚ je k dispozícii na lokalite <https://www.asus.com/support/>

Činnosť WiFi v pásme 5150 - 5350 MHz bude obmedzená na použitie vo vnútornom prostredí pre krajiny uvedené v tabuľke nižšie:

Poenstavljen izjava EU o skladnosti

ASUSTek Computer Inc. tukaj izjavlja, da je ta naprava skladna s temeljnimi zahtevami in drugimi relevantnimi določili Direktive 2014/53/EU. Polno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na <https://www.asus.com/support/>

WiFi, ki deluje v pasovnem območju 5150–5350 MHz, mora biti v državah, navedenih v spodnjem seznamu, omejen na notranjo uporabo:

Declaración de conformidad simplificada para la UE

Por la presente, ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo cumple los requisitos básicos y otras disposiciones pertinentes de la directiva 2014/53/UE. En <https://www.asus.com/support/> está disponible el texto completo de la declaración de conformidad para la UE.

La conexión WiFi con una frecuencia de funcionamiento de 5150-5350 MHz se restringirá al uso en interiores para los países enumerados en la tabla:

Förenklad EU-försäkran om överensstämmelse

ASUSTek Computer Inc. deklarerar härmed att denna enhet överensstämmer med de grundläggande kraven och andra relevanta bestämmelser i direktiv 2014/53/EU. Fullständig text av EU-försäkran om överensstämmelse finns på <https://www.asus.com/support/>

WiFi som används 5150-5350 MHz kommer att begränsas för användning inomhus i de länder som anges i tabellen:

ประเทศไทยมีความสอดคล้องของสภาพอุปกรณ์

ASUSTek Computer Inc.

ขอประกาศในที่นี้ว่าอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องกับความต้องการที่จำเป็นและเป็นเงื่อนไขที่เกี่ยวข้องอื่น ๆ ของทบทวนผู้ซื้อที่กำหนด 2014/53/EU เนื่องจากคุณสมบัติของประกาศความสอดคล้องกับ EU มีอยู่ที่ <https://www.asus.com/support/>

การทำงานของ WiFi ที่ 5150-5350MHz ถูกจำกัดให้ใช้ในอาคารสำหรับประเภทนี้แสดงในตาราง

Basitleştirilmiş AB Uyumluluk Bildirimi

ASUSTek Computer Inc., bu aygıtın 2014/53/EU Yönergesinin temel gereksinimlerine ve diğer ilgili hükümlerine uygun olduğunu bildirir. AB uyumluluk bildirimini tam metni şu adreste bulunabilir: <https://www.asus.com/support/>

5150-5350 MHz aralındaki WiFi çalışması, tabloda listelenen ülkeler için iç mekân kullanımıyla kısıtlanacaktır.

Спрощена декларація про відповідність нормам ЕС

ASUSTek Computer Inc. заявляє, що цей пристрій відповідає основним вимогам та іншим відповідним вимогам Директиви 2014 / 53 / EU. Повний текст декларації відповідності нормам ЄС доступний на <https://www.asus.com/support/>

Робота Wi-Fi на частоті 5150-5350 МГц обмежується використанням у приміщенні для країн, поданих у таблиці нижче:

日本語 本製品は、欧州 (EU) 無線機器指令 (2014/53/EU) に適合しています。適合宣言書は、www.asus.com/support/ でご確認ください。



| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| AT | BE | BG | CZ | DK | EE | FR |
| DE | IS | IE | IT | EL | ES | CY |
| LV | LI | LT | LU | HU | MT | NL |
| NO | PL | PT | RO | SI | SK | TR |
| FI | SE | CH | UK | HR | | |

INTEL® Wi-Fi 6 AX201 output power table:

| Function | Frequency | Maximum Output Power (EIRP) |
|-----------|-----------------|-----------------------------|
| WiFi | 2412 - 2472 MHz | 18.39 dBm |
| | 5150 - 5350 MHz | 18.80 dBm |
| | 5470 - 5725 MHz | 18.55 dBm |
| | 5725 - 5850 MHz | 9.21 dBm |
| Bluetooth | 2402 - 2480 MHz | 10.60 dBm |

For the standard EN 300 440 V2.1.1, if this device operates in 5725-5875 MHz, it will be considered as a receiver category 2.



ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 1F, No. 15, Lide Rd., Beitou Dist., Taipei City 112, Taiwan
電話(代表): +886-2-2894-3447
ファックス(代表): +886-2-2890-7798
Webサイト: <https://www.asus.com>

テクニカルサポート

電話: +86-21-38429911
オンラインサポート: <https://qr.asus.com/techserv>

お問い合わせ

本製品の日本におけるサポートは販売代理店が提供しております。製品ご購入後のお問い合わせについては、製品の外箱に貼付された「製品保証シール」をご確認の上、販売代理店のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。

お電話でテクニカルサポートにお問い合わせをいただく際、ご不明な点や問題を迅速に解決するため【製品名】【シリアル番号】のご用意をお願いいたします。

ASUSが提供するサービスについてのお問い合わせは、ASUSオフィシャルページのサポートページからお問い合わせください。

<http://www.asus.com/jp/support/>